

石井町人口ビジョン

平成 28 年 3 月
石 井 町

目次

I. 人口ビジョンについて	1
策定の趣旨	1
石井町人口ビジョンの位置付け	1
対象期間	1
国の「長期ビジョン」	2
徳島県の人口ビジョン	2
国の人口推移と時代のトレンド	3
II. 石井町の人口動向の現状と見通し	4
1. 現状分析	4
現状分析についての基本的な考え方	4
(1) 人口動向	5
①人口変化指数.....	5
②人口構成比.....	5
(2) 人口動態	7
① 自然動態.....	7
② 社会動態.....	7
(3) 要因別分析	8
① 出生状況.....	8
② 死亡の状況.....	9
③ 転入・転出の状況.....	10
(4) その他の分析	12
① 通勤・通学の状況.....	12
② 産業別就業者数.....	13
2. 将来人口の見通し	14
趨勢人口と戦略人口	14
国調ベースによる現状人口と社人研による推計人口との比較	14
人口推計の基本的考え方	15
(1) 石井町の趨勢人口の見通し	16
(2) 趨勢人口を踏まえた将来人口シミュレーション	16
3. 課題と影響	30
①石井町における人口動向・構造の特性と課題.....	30
②将来人口の見通しとその影響.....	31

Ⅲ. 人口の将来展望	32
1. 将来展望に必要な調査・分析	32
(1) アンケートの実施概況	32
(2) アンケートの結果概要	32
2. 目指すべき将来の方向	38
3. 戦略人口と将来展望	39
(1) 戦略人口	39
(2) 戦略人口に基づく将来展望	40

1. 人口ビジョンについて

策定の趣旨

- 我が国では、2008年の1億2,808万人をピークに人口減少局面に入っており、今後も年少人口の減少と老年人口の増加を伴いながら、2050年に9,700万人程度、2100年には5,000万人未満まで減少するという推計がされています。また、地域間経済格差等が、若い世代の地方から東京圏への流出、ひいては東京圏一極集中を招いています。
- こうした背景に対応するため、「まち・ひと・しごと創生法」と「地域再生法の一部を改正する法律」が成立しました。この「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国では「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定、平成26年12月27日に閣議決定されました。
- 石井町においても、人口減少に伴う地域課題に対応するために、今後町が目指すべき方向性を示す「石井町人口ビジョン」を策定します。

石井町人口ビジョンの位置付け

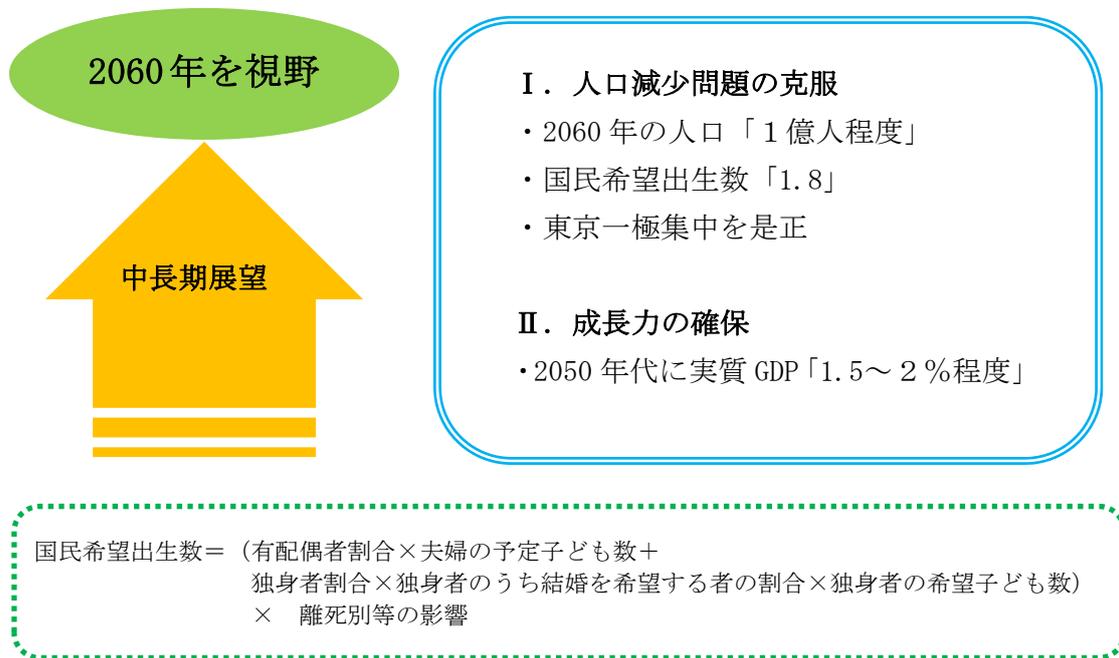
- 石井町人口ビジョンは、人口の現状や人口の推計を分析することで、町の人口動向の特性と課題を把握し、目標とする将来人口と、将来人口に基づく将来の展望を提示するものです。また、同時に策定する「石井町総合戦略」の目標設定や、必要な施策・事業を検討する上で、重要な基礎資料となります。

対象期間

- 石井町人口ビジョンの対象期間は、国の「長期ビジョン」と同じく、2015年から2060年までとします。

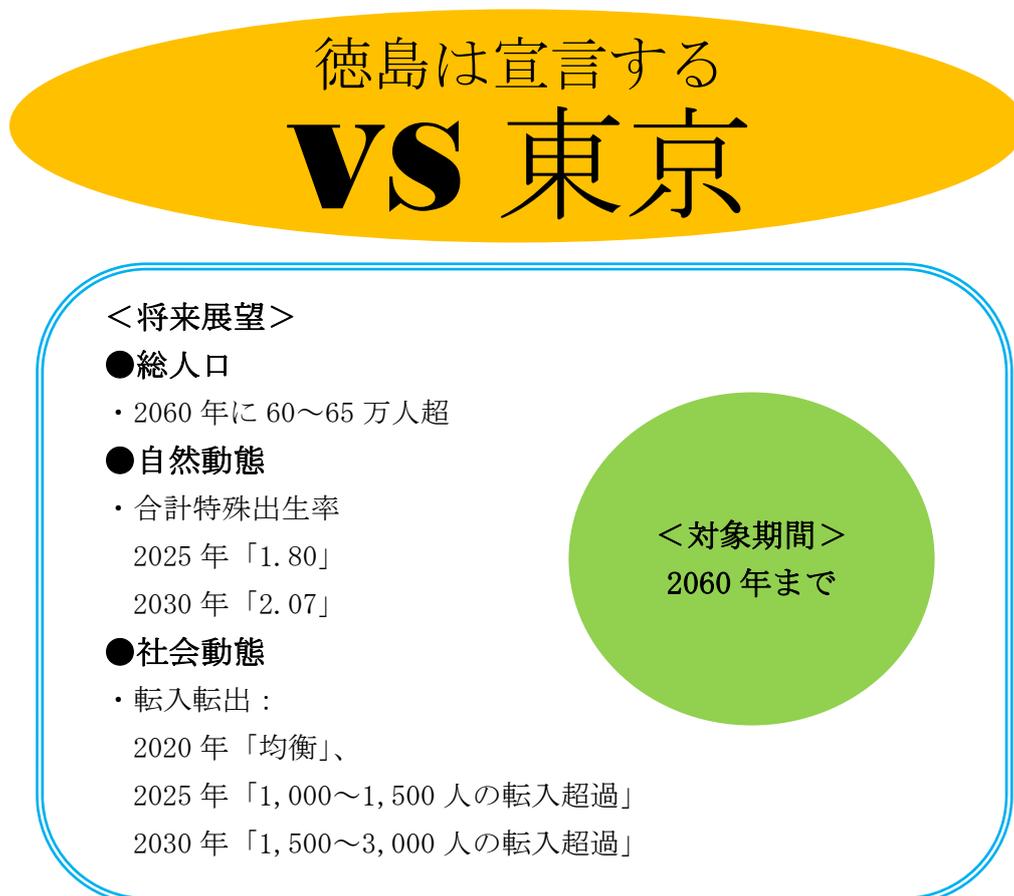
国の「長期ビジョン」

○国の「長期ビジョン」は以下のとおりです。



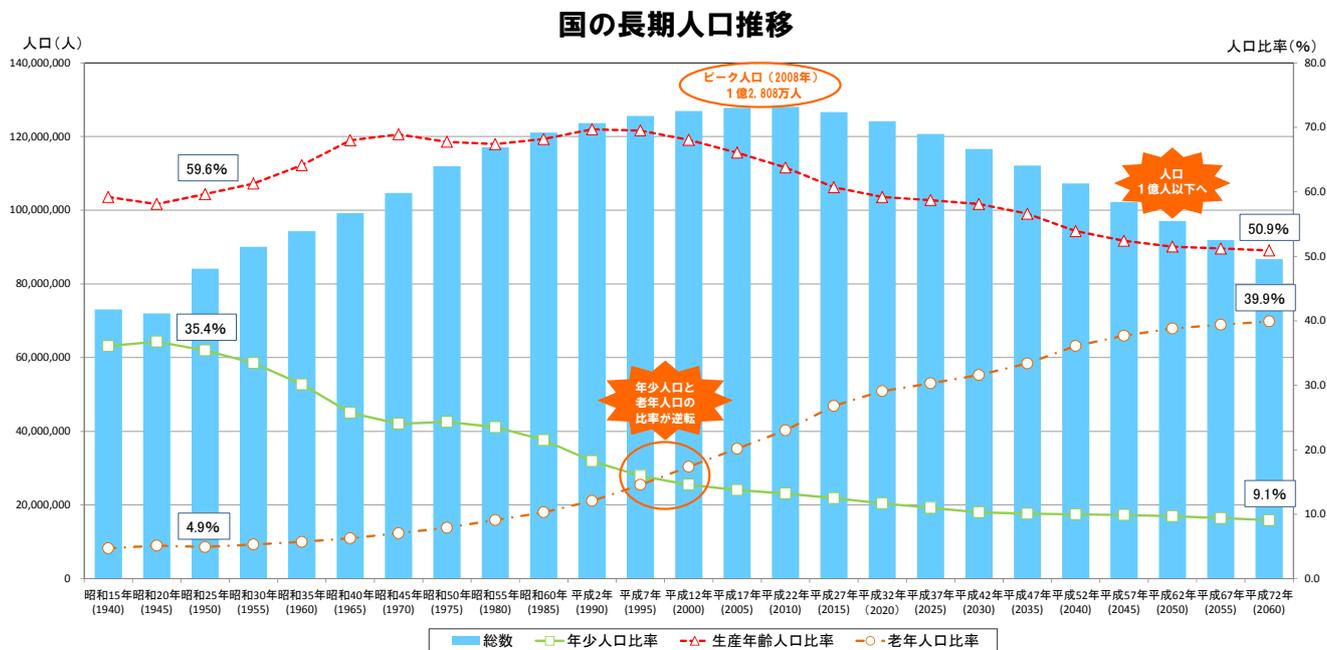
徳島県の人口ビジョン

○「とくしま人口ビジョン」の概要は次のとおりです。



国の人口推移と時代のトレンド

○我が国の人口は、1950 年以降、一貫して増加していましたが、2008 年をピークに減少に転じており、2060 年には 8,674 万人程度にまで減少すると推計されています。これは高度経済成長期以前の 1950 年の人口と概ね同程度ですが、年齢構成を比較すると、年少人口（0～14 歳）と生産年齢人口（15～64 歳）の割合が小さく、老年人口（65 歳以上）の割合が大きくなっており、年少人口数と老年人口数がほぼ逆転しています。



時代のトレンド

●人口の減少

2014 年の総人口「1 億 2,708 万 3 千人」
※2008 年（ピーク人口）から 100 万人程度減少

●全国的な低出生率と大都市の超低出生率

2014 年の合計特殊出生率「1.42（東京都 1.15）」
※8 年連続の自然減少

●晩婚化の進行

1975 年の平均初婚年齢「夫 27.0 歳、妻 24.7 歳」
→2014 年の平均初婚年齢「夫 31.1 歳、妻 29.4 歳」

●人口の東京一極集中

2014 年の地方圏転出超過「96,883 人」、東京圏転入超過「109,408 人」
※19 年連続の東京圏転入超過

●移動の縮小

1974 年の移動「3,932,387 人」→1994 年の移動「3,022,279 人」
→2014 年の移動「2,259,688 人」
※20 年で 25.2%、40 年で 42.5%の縮小

(人口推計(平成 26 年 10 月 1 日)結果の概要、人口動態統計、人口移動報告)

II. 石井町の人口動向の現状と見通し

1. 現状分析

現状分析についての基本的な考え方

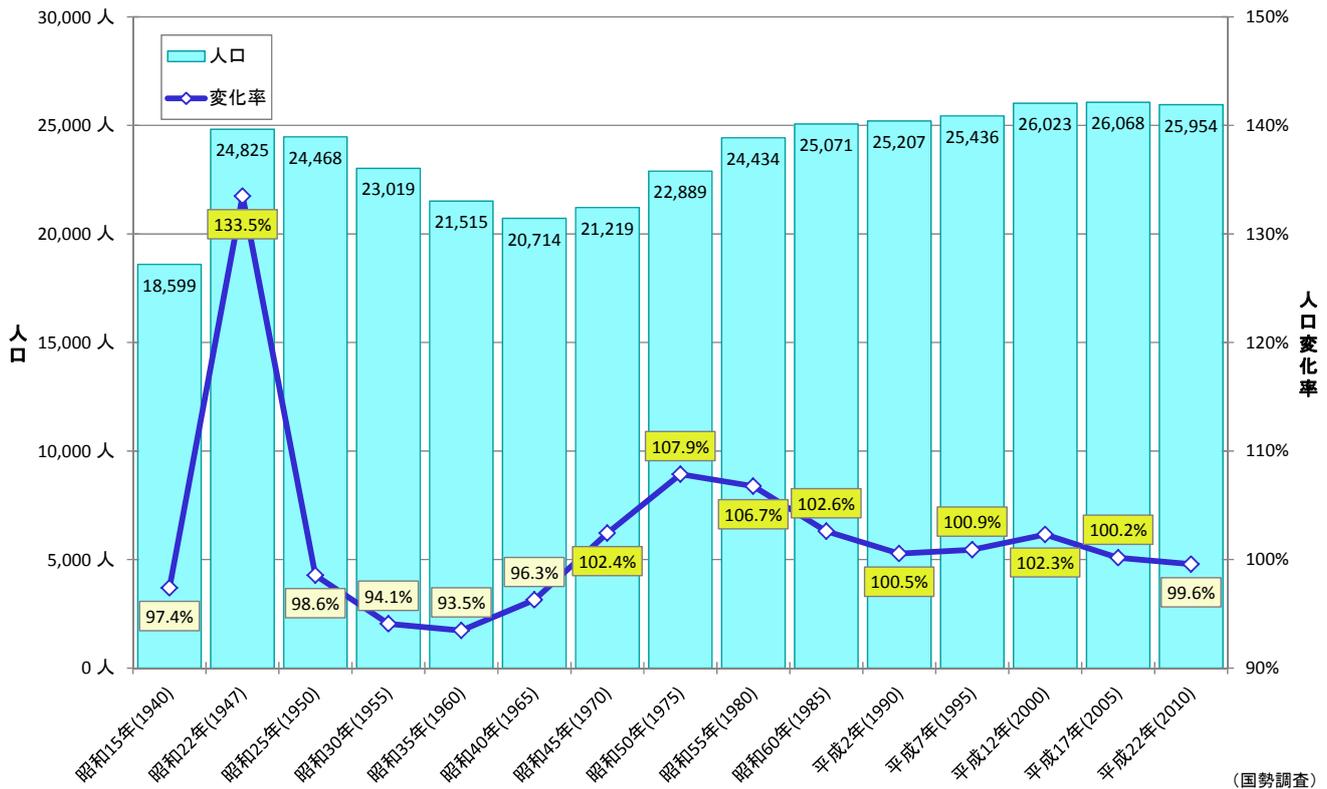
○過去から現在に至る人口の推移を把握し、その背景を分析することにより、講ずべき施策の検討材料を得ることを目的として、時系列による人口動向や年齢階級別の人口移動分析を行います。

【総人口の長期推移】

○石井町では、他の多くの自治体と同様、戦後の復員やベビーブームに伴って昭和 22 年に人口が大きく増加し、昭和 15 年の 18,599 人から 24,825 人となっています。

○その後は減少傾向となり、昭和 40 年には 20,714 人となっています。この原因は高度経済成長期に伴い、首都圏等其他地域への人口流出があったためと考えられます。

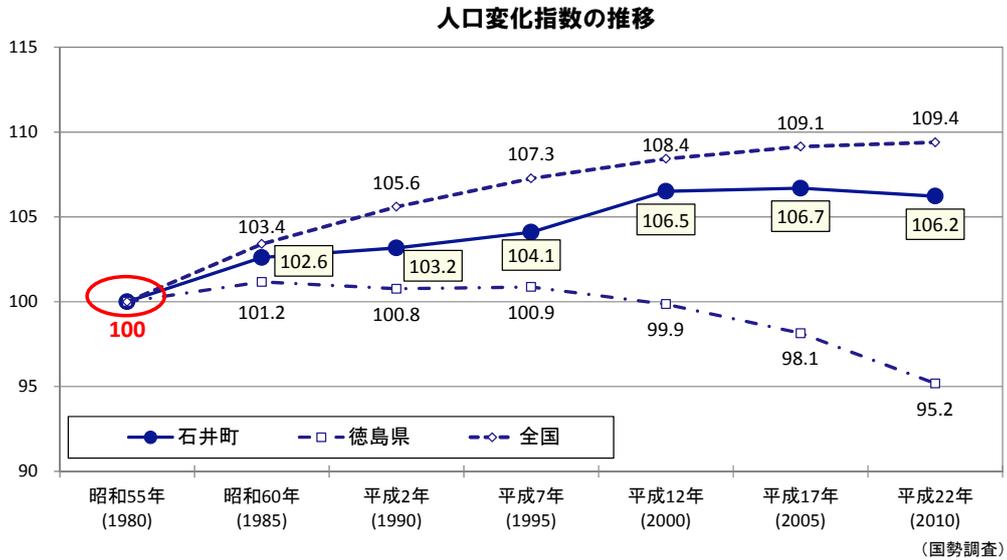
人口と人口変化率の推移



(1) 人口動向

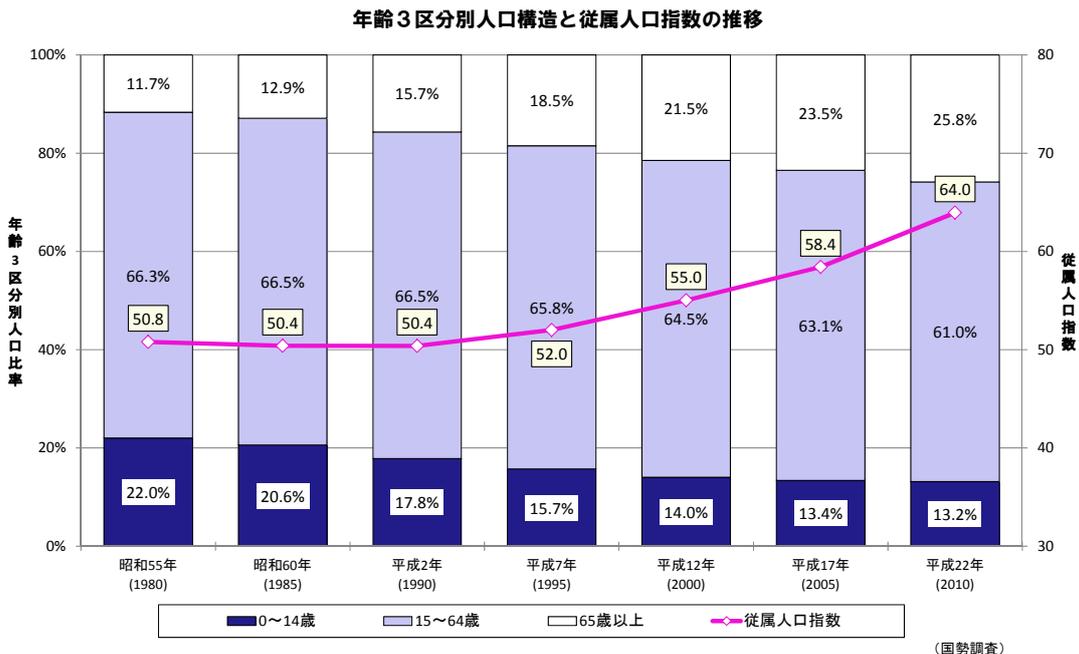
①人口変化指数

昭和55年の人口を100とした場合の変化指数の推移を全国・徳島県・石井町で比較すると、全国では平成22年がピークとなっているのに対し、石井町も増加傾向ではありますがピークは平成17年の106.7となっています。



②人口構成比

年齢3区分別の人口構造の推移についてみると、老年人口が昭和55年の11.7%から平成22年には25.8%と30年間で14.1ポイント増加している一方で、年少人口は22.0%から13.2%と8.8ポイント減少しており、少子高齢化が進行していることが分かります。従属人口指数は、昭和55年の50.8から平成22年には64.0まで増加しています。



従属人口指数とは、生産年齢人口（15～64歳）に対する年少人口（0～14歳）、老年人口（65歳以上）の合計の比率で、働き手である生産年齢人口100人が年少人口と老年人口を何人支えているかを示すものです。

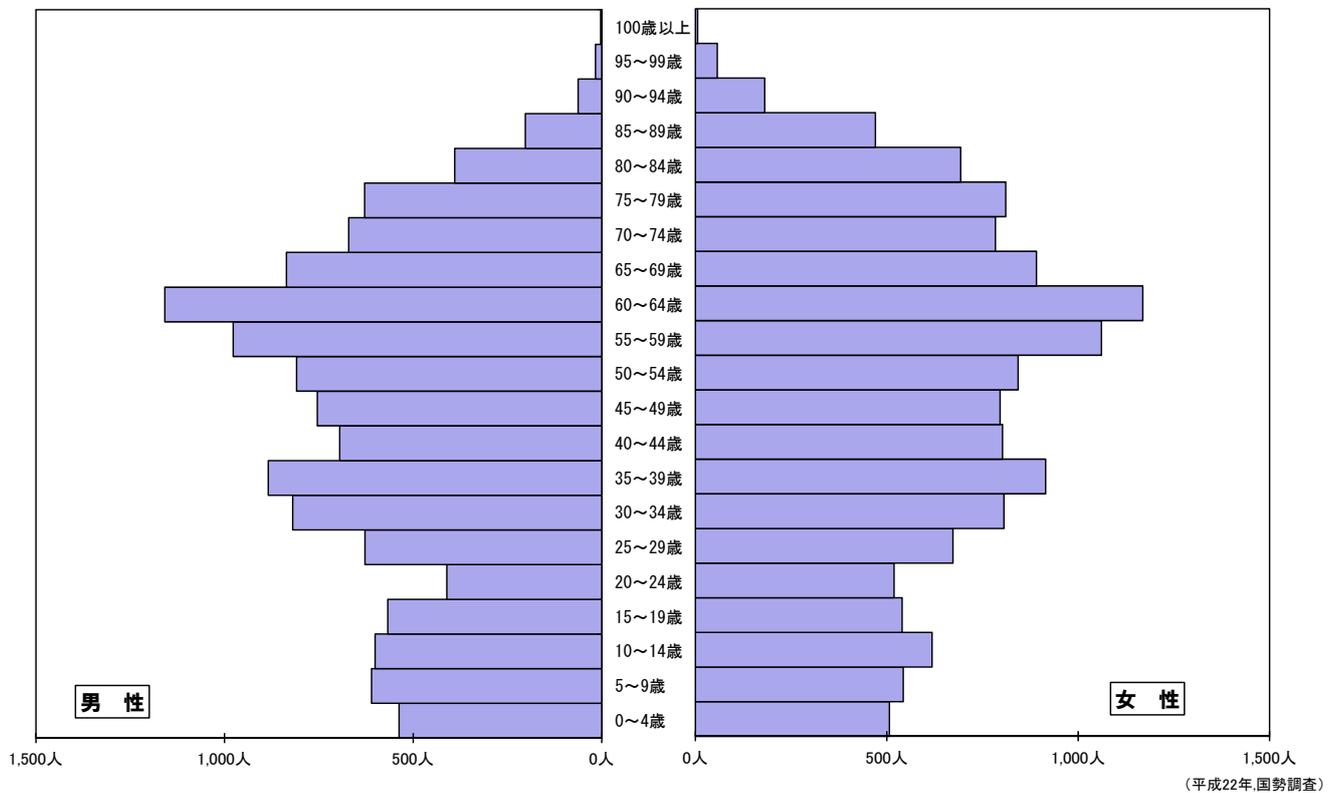
(人)

		昭和55年 (1980)	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	
人 口	年少人口	0～4歳	1,717	1,490	1,173	1,065	1,113	1,100	1,044
		5～9歳	1,898	1,747	1,532	1,311	1,178	1,179	1,153
		10～14歳	1,768	1,928	1,792	1,625	1,362	1,214	1,219
		計	5,383	5,165	4,497	4,001	3,653	3,493	3,416
	生産年齢人口	15～19歳	1,498	1,631	1,774	1,629	1,505	1,251	1,107
		20～24歳	1,295	1,223	1,227	1,464	1,382	1,217	930
		25～29歳	1,805	1,401	1,269	1,278	1,601	1,499	1,301
		30～34歳	2,230	1,904	1,449	1,380	1,409	1,678	1,625
		35～39歳	1,745	2,280	1,926	1,580	1,498	1,475	1,799
		40～44歳	1,592	1,730	2,296	1,964	1,646	1,517	1,497
		45～49歳	1,807	1,608	1,779	2,304	1,994	1,652	1,550
		50～64歳	4,232	4,892	5,041	5,135	5,751	6,166	6,017
	計	16,204	16,669	16,761	16,734	16,786	16,455	15,826	
	老年人口	65～74歳	1,851	1,992	2,322	2,850	3,181	3,108	3,182
		75歳以上	996	1,244	1,627	1,851	2,403	3,012	3,523
計		2,847	3,236	3,949	4,701	5,584	6,120	6,705	
年齢不詳		0	1	0	0	0	0	7	
総人口		24,434	25,071	25,207	25,436	26,023	26,068	25,954	
構 成 比	年少人口	0～14歳	22.0%	20.6%	17.8%	15.7%	14.0%	13.4%	13.2%
	生産年齢人口	15～64歳	66.3%	66.5%	66.5%	65.8%	64.5%	63.1%	61.0%
	老年人口	65歳以上	11.7%	12.9%	15.7%	18.5%	21.5%	23.5%	25.8%

(国勢調査)

平成22年の石井町の5歳階級別の人口構造をみると、団塊の世代を含む60～64歳の人口の割合が最も大きくなっており、今後さらに高齢化が進むことが予測されます。

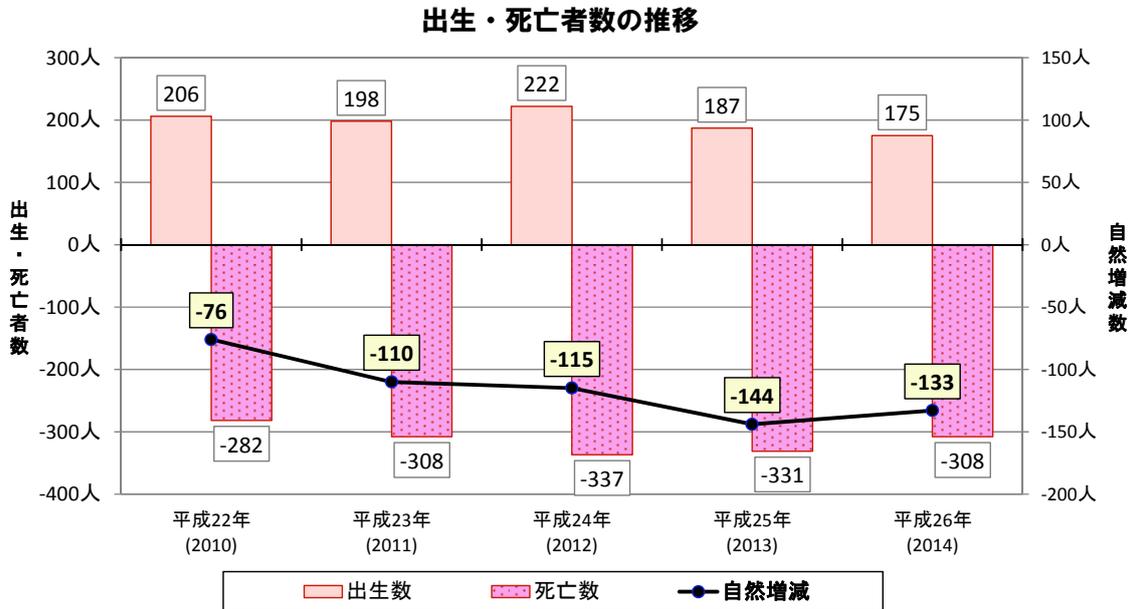
石井町の5歳階級別人口構造



(2) 人口動態

① 自然動態

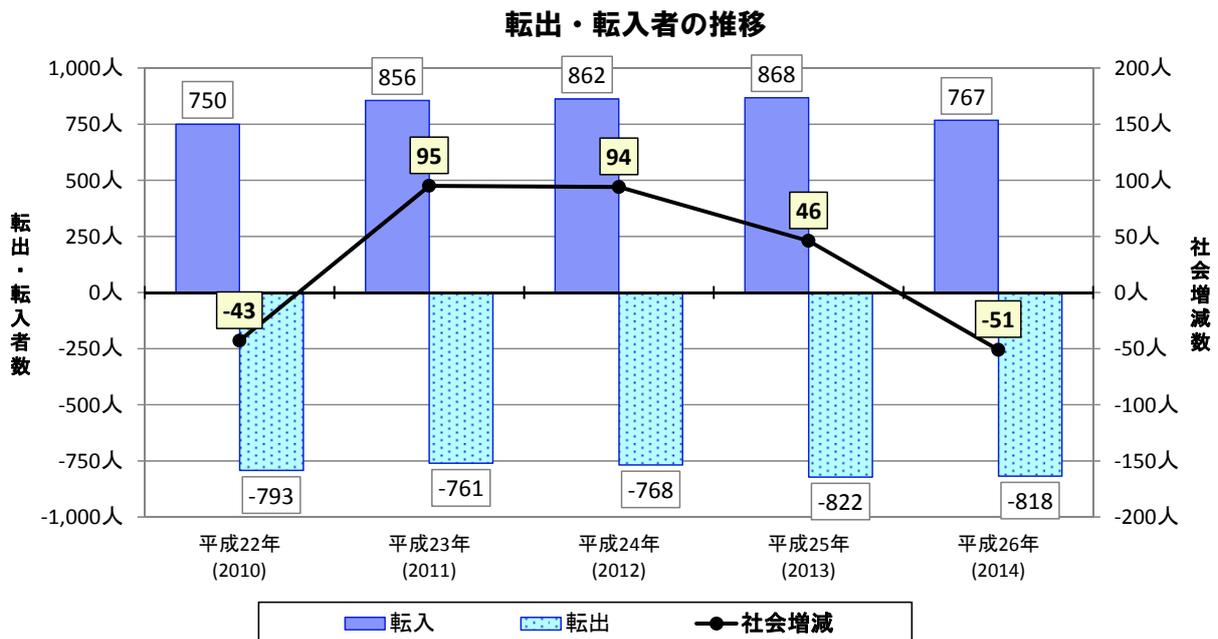
平成 22～26 年の 5 年間の出生・死亡者数をみると、出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向となっており、その結果自然増減は平成 22 年の-76 人から平成 26 年には-133 人となっています。



(人口動態調査)

② 社会動態

平成 22～26 年の 5 年間の転入・転出者数をみると、平成 23 年には前年に比べ転入が転出を大きく上回り約 100 人の社会増となっています。その後、平成 25 年まで社会増で推移した後、平成 26 年には再び社会減に転じています。

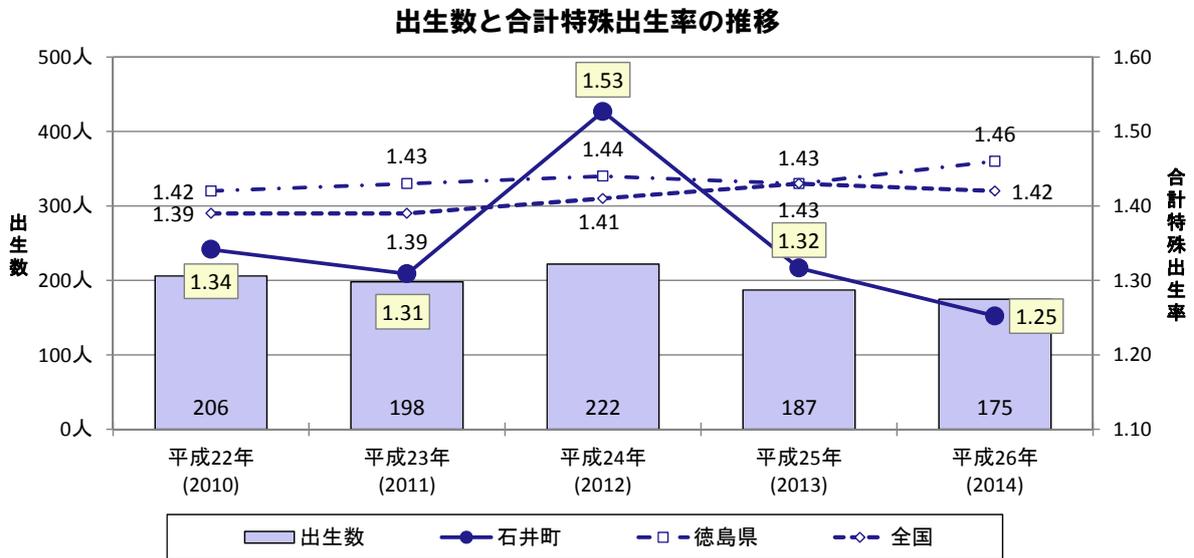


(徳島県人口移動調査)

(3) 要因別分析

① 出生状況

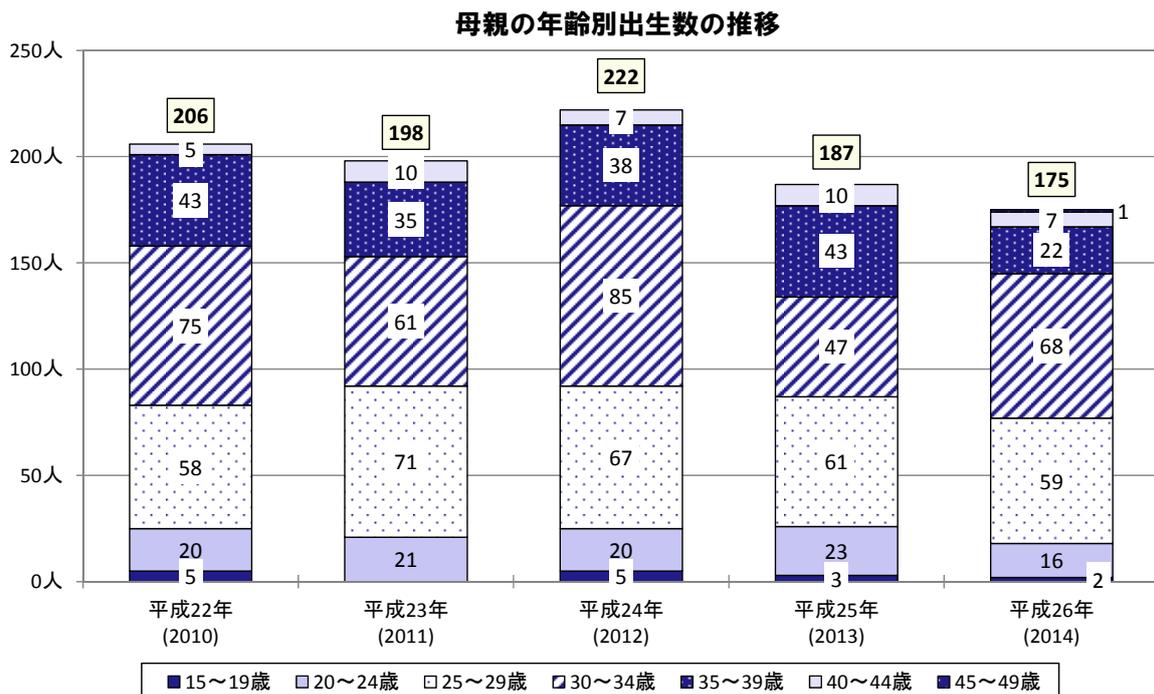
平成 22～26 年の 5 年間の合計特殊出生率の推移をみると、平成 24 年を除き、国・徳島県に比べ低い数値で推移しており、平成 26 年では 1.25 となっています。



※国・県：人口動態調査
 ※石井町：出生数(人口動態調査)、女性人口(住民基本台帳)より算出

石井町の合計特殊出生率は、人口動態調査による母親の年齢5歳階級別出生数を住民基本台帳（3月31日付）による15～49歳の5歳階級別の女性人口で除した値の合計

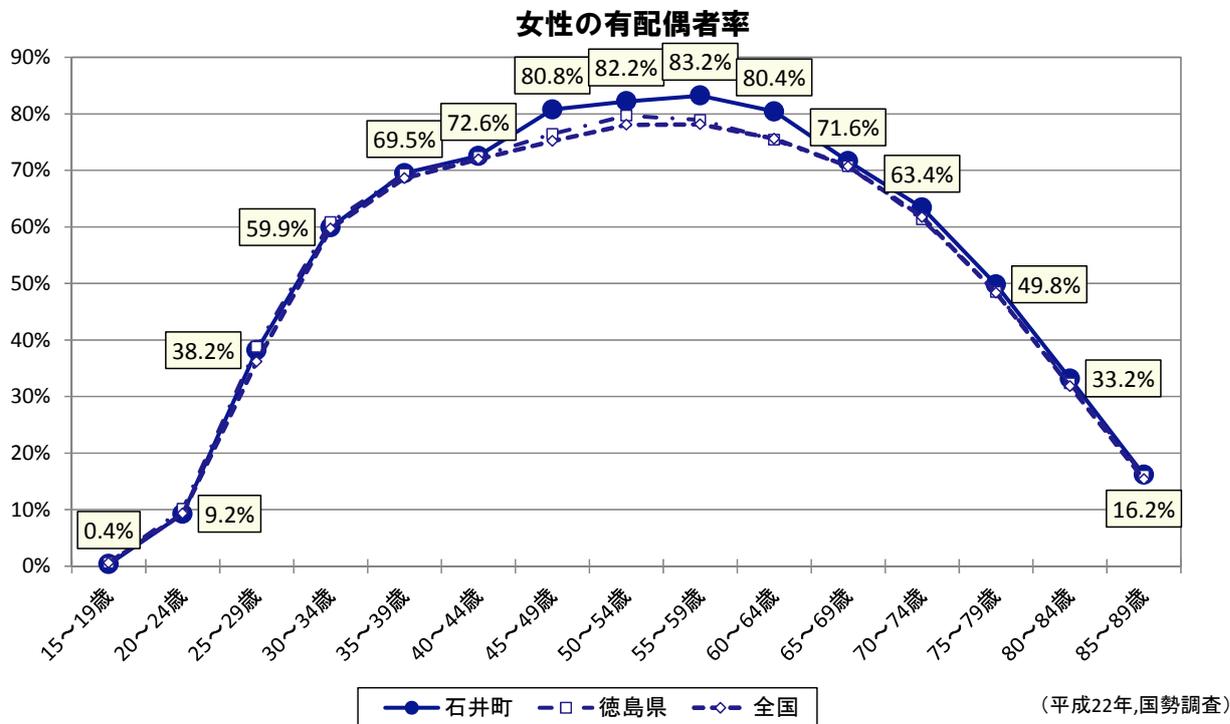
母親の年齢別出生数の推移をみると、合計特殊出生率が一時的に上昇した平成 24 年を除き全体的に減少傾向で、特に 30 代の母親の出生数が大幅に減少しています。



(人口動態調査)

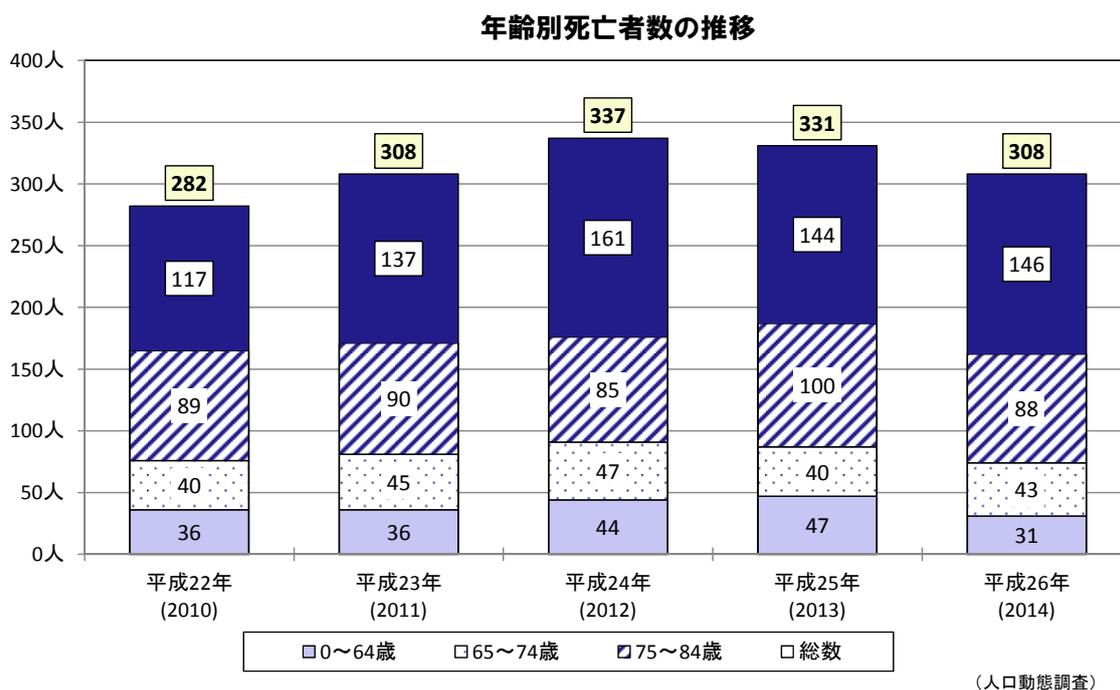
平成 22 年の女性の有配偶率を全国・徳島県・石井町で比較すると、特に 45～64 歳で全国・徳島県に比べて石井町の有配偶率が高くなっています。

我が国では出産の多くが嫡出子であることから、“20～29 歳”の女性の有配偶率が高いことは、20 代の母親の出生数に影響があると思われます。



② 死亡の状況

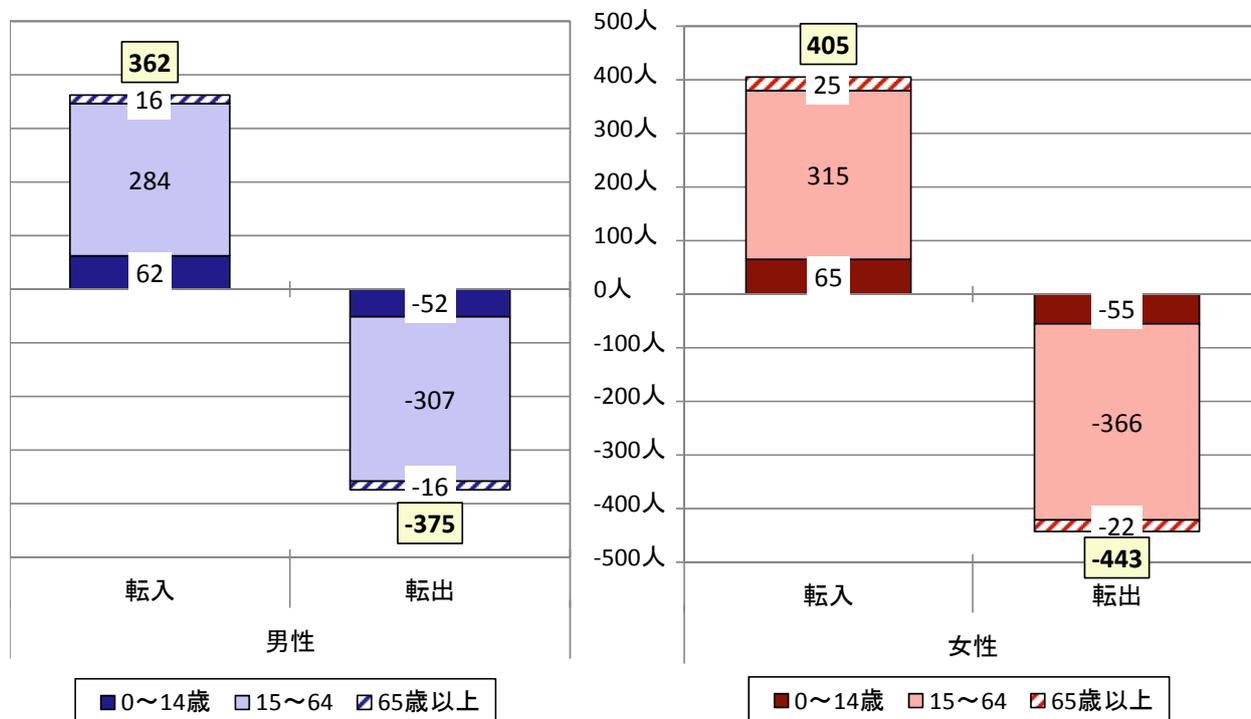
平成 22～26 年の 5 年間の年齢別死亡者数は増加傾向で推移しており、85 歳以上が占める割合が高い状況です。



③ 転入・転出の状況

平成26年の転入・転出の状況を性別・年齢3区分別にみると、15～64歳では男女ともに転出が転入を上回っています。

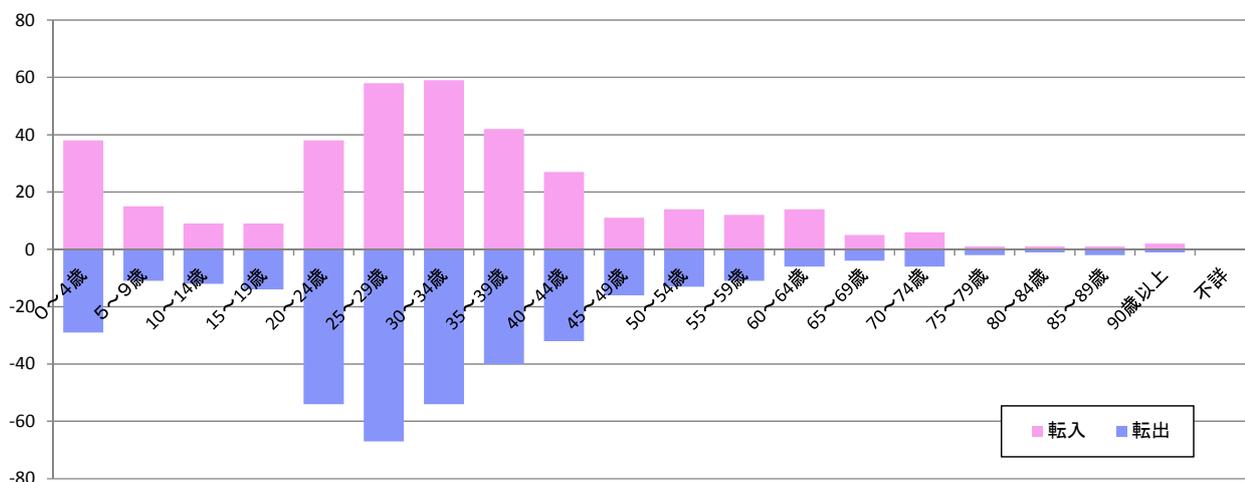
性別・年齢3区分別の転入・転出の状況



(平成26年,徳島県人口移動調査)

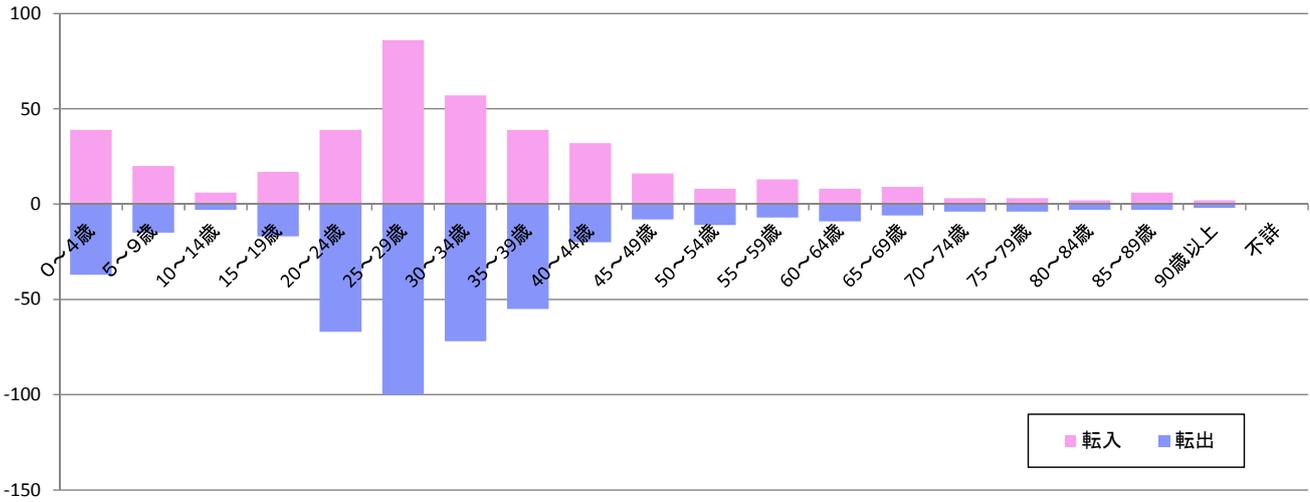
また、平成26年の転入・転出の差である純移動数について、性別・年齢区分別にみると、男女ともに20代、30代での移動が中心となっています。これは進学、就職、結婚等の移動を伴うライフイベントが要因であると考えられます。

年齢階級別 転入・転出の状況(男性)



(平成26年,徳島県人口移動調査)

年齢階級別 転入・転出の状況(女性)

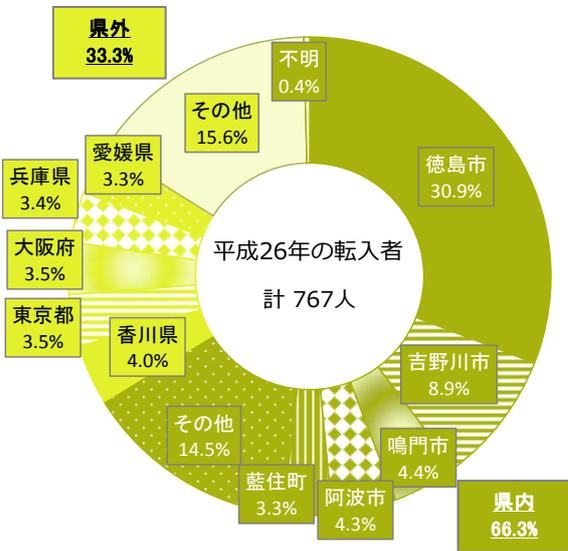


(平成26年,徳島県人口移動調査)

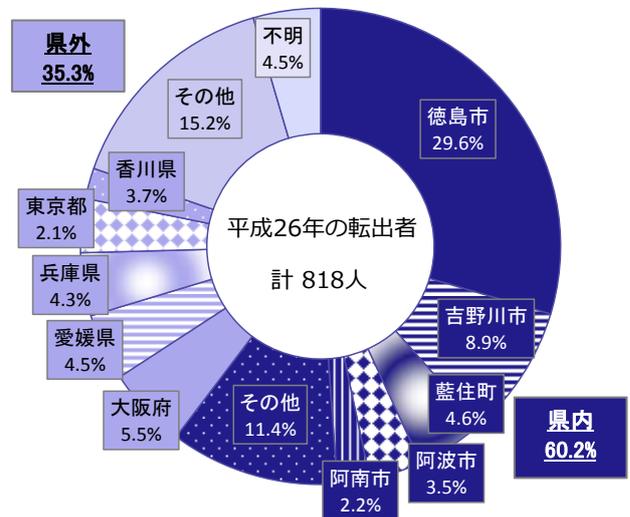
平成 26 年の転入・転出の状況を居住地別にみると、転入は県内が 66.3%、転出は県内が 60.2%となり、いずれも徳島市が最も多く全体の約3割となっています。

県外では、転入は香川県、転出は大阪府が最も多くなっています。

転入の状況



転出の状況



(徳島県人口移動調査)

(4) その他の分析

① 通勤・通学の状況

平成22年の町内常住の就業者・通学者13,093人の従業・通学地についてみると、町内に通勤・通学している人が5,491人(41.9%)、他市区町村が7,602人(58.1%)となっています。

他市区町村への通勤・通学先は、徳島市が最も多い4,582人(60.3%)、次いで吉野川市が811人(10.7%)、藍住町が278人(3.7%)の順となっています。

他市区町村常住の就業者・通学者で石井町に通勤・通学している人をみると、徳島市から通勤・通学している人が1,715人(40.6%)、次いで吉野川市が897人(21.3%)となっています。

区分	町内		他市町村		計
	自宅で従業・通学	自宅外で従業・通学	県内の他市町村で従業・通学	県外の他市町村で従業・通学	
男	1,256	1,521	4,189	200	7,166
女	907	1,807	3,119	94	5,927
小計	2,163	3,328	7,308	294	
計	5,491 41.9%		7,602 58.1%		13,093

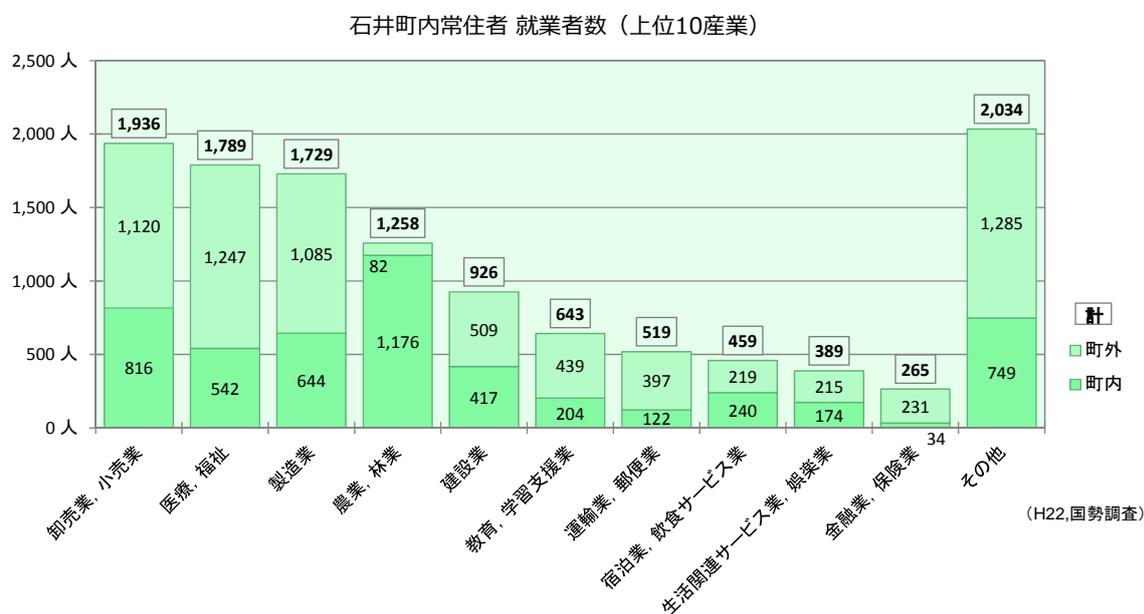
従業・通学地別の就業者・通学者数

区分	石井町から他市町村へ				他市町村から石井町へ				
	総数	構成比	就業者	通学者	総数	構成比	就業者	通学者	
総数	7,602	100.0%	6,829	773	4,220	100.0%	3,890	330	
県内	徳島市	4,582	60.3%	3,962	620	1,715	40.6%	1,562	153
	吉野川市	811	10.7%	756	55	897	21.3%	851	46
	藍住町	278	3.7%	278	-	249	5.9%	244	5
	阿波市	266	3.5%	234	32	385	9.1%	357	28
	鳴門市	215	2.8%	205	10	107	2.5%	100	7
	上板町	194	2.6%	194	-	243	5.8%	209	34
	板野町	192	2.5%	184	8	141	3.3%	134	7
	北島町	167	2.2%	167	-	78	1.8%	75	3
	松茂町	146	1.9%	146	-	25	0.6%	21	4
	神山町	120	1.6%	111	9	128	3.0%	110	18
	その他	337	4.4%	311	26	221	5.2%	196	25
計	7,308	96.1%	6,548	760	4,189	99.3%	3,859	330	
県外	香川県	56	0.7%	53	3	17	0.4%	19	0
	その他	27	0.4%	26	1	14	0.3%	12	0
	計	83	1.1%	79	4	31	0.7%	31	0
不詳	211	2.8%	202	9	0	0.0%	0	0	

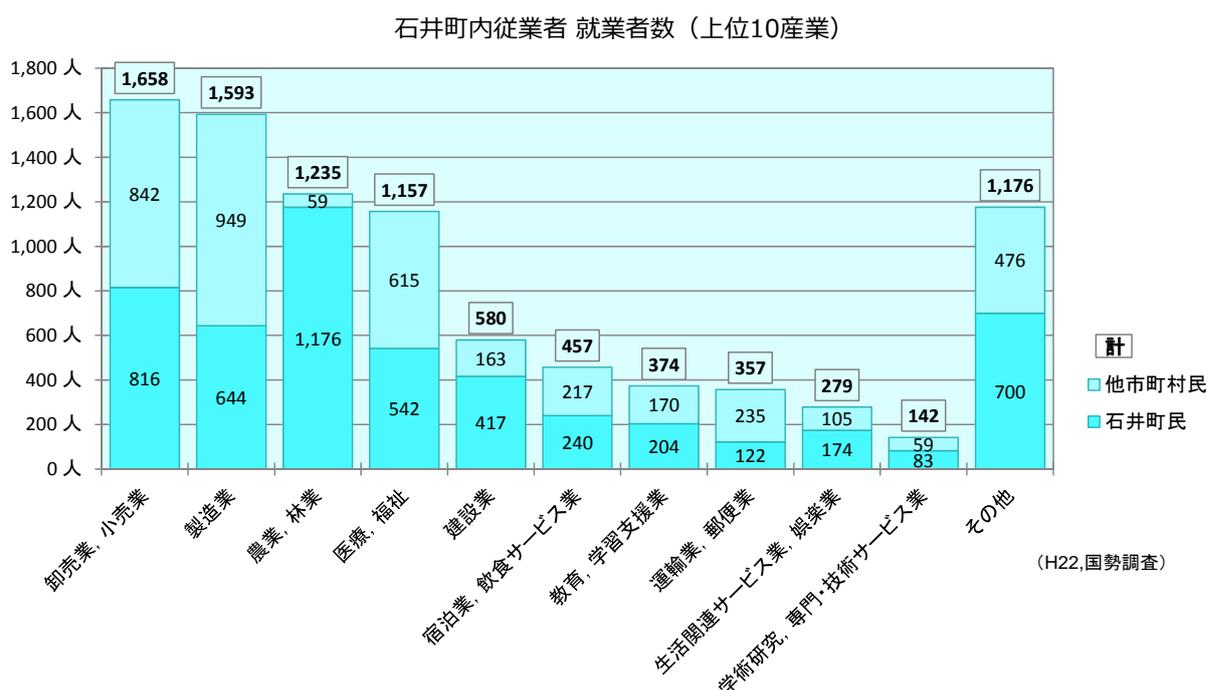
(平成22年,国勢調査)

② 産業別就業者数

平成 22 年の石井町常住の就業者について産業分類別にみると、卸売業・小売業が 1,936 人と最も多く、そのうち 816 人 (42.1%) が町内で就業しています。次いで、医療・福祉が 1,789 人で、そのうち 542 人 (30.3%) が町内で就業している状況です。



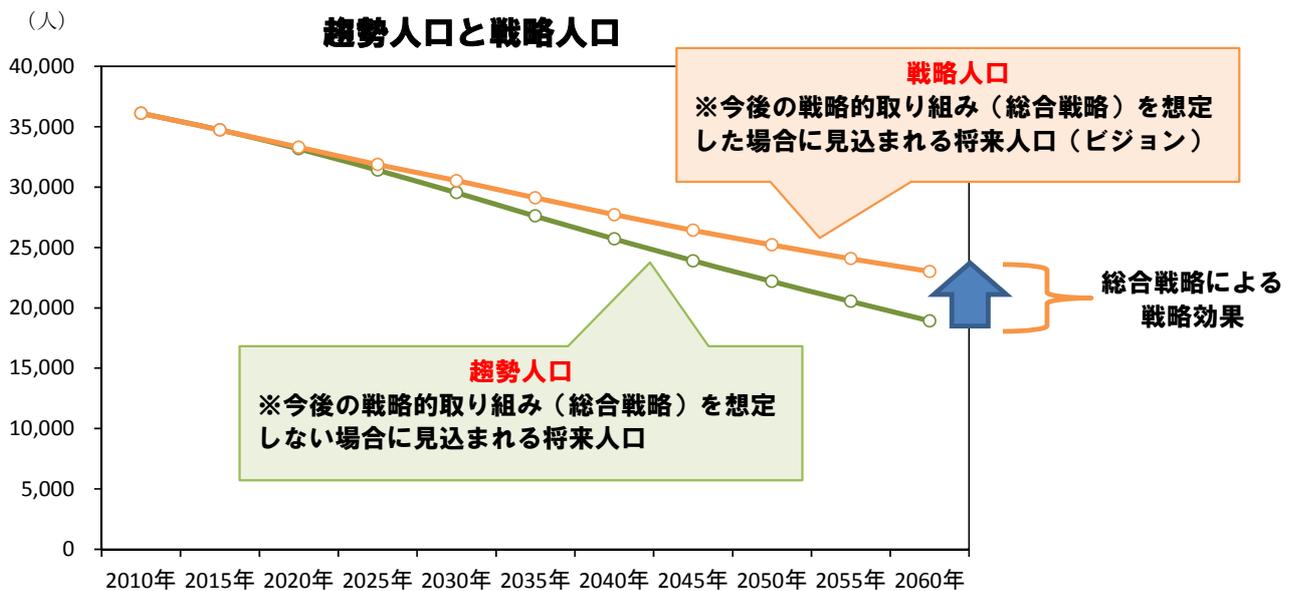
また、平成 22 年の石井町内従業者数について産業分類別にみると、卸売業・小売業が 1,658 人と最も多く、そのうち他市町村常住者は 842 人 (50.8%) を占めています。次いで、製造業が 1,593 人で、そのうち他市町村常住の就業者は 949 人 (59.6%) となっています。



2. 将来人口の見通し

趨勢人口と戦略人口

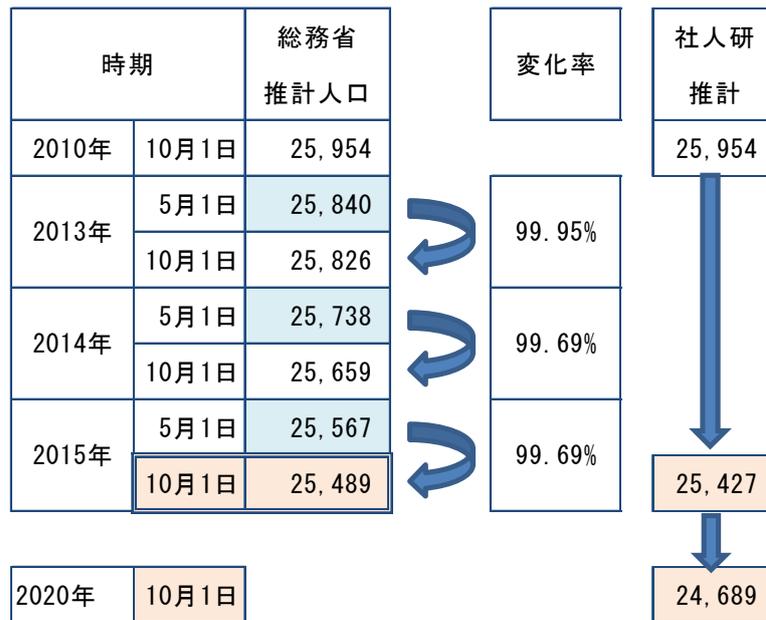
- 人口ビジョンにおいて設定する将来人口は、総合戦略による戦略的な人口政策の取り組みを前提とするものであり、そうした意味において戦略人口として捉えることができます。
- こうした戦略人口の意義は、その前提とした戦略的な人口政策の取り組みを想定しない場合の将来人口（＝趨勢人口）と対比することにより、了解されるものです。
- また、戦略人口の推計シミュレーションは、趨勢人口をベースに検討することになります。



- 一般論としては、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による推計人口を趨勢人口として扱うことが考えられますが、社人研による推計人口において既に実態との乖離が明白な事例も少なくありません。
- したがって、人口シミュレーションを行うに先立ち、社人研推計による 2015 年の推計人口が現状の実態と大きく乖離していないかを確認する必要があります。

国調ベースによる現状人口と社人研による推計人口との比較

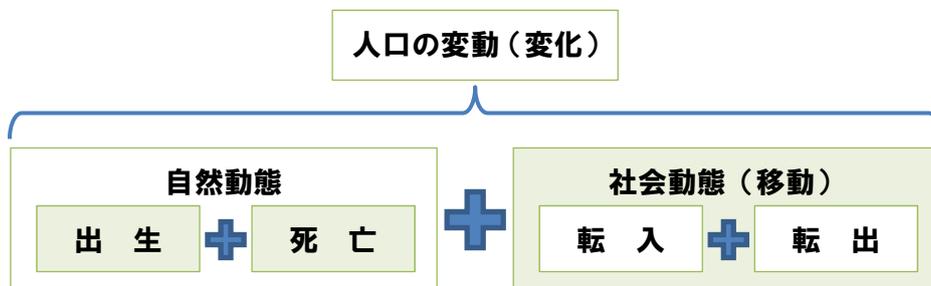
- 総務省所管の“推計人口”とは、国調人口をベースに、毎月の住民基本台帳による人口変化に基づく増減をさせた人口であり、これにより最新の国調ベースの人口を把握することができます。
- 2015 年の町の人口について、“推計人口”（5 月 1 日現在）では 25,567 人となっており、今年の 10 月 1 日現在では 25,489 人程度になることが見込まれるのに対し、社人研による推計では 25,427 人となっており、概ね近似していると見なされます。



○こうした検証を踏まえ、社人研による推計を町の趨勢人口として捉えたシミュレーションを行うこととします。

人口推計の基本的考え方

○人口の変動（変化）は、出生・死亡・移動の3つの要素の変化によるものです。



○移動（社会動態）は、転入及び転出による現象ですが、人口推計上はこれを区別することなく、転入と転出の差引の結果としての（純）移動数として考えます。

○したがって、将来の人口推計を行うにあたっては、これらの人口変動の3要素の将来値をいかに設定するかがポイントとなります。

○人口推計は、上記の考え方を踏まえ、これに対応し得るコーホート要因法により行うものとします。

○具体の推計にあたっては、国が作成・配布した人口推計ツールを用いています。

(1) 石井町の趨勢人口の見通し

[社人研による推計(趨勢人口)]

○国立社会保障・人口問題研究所による推計は、次のような仮定に基づいています。

3要素	将来設定の基本的な考え方
出生	原則として、2010年の全国の子ども女性比(15～49歳女性人口に対する0～4歳人口の比)と各市町村の子ども女性比との比をとり、その比が平成27(2015)年以降2040年まで一定として市町村ごとに仮定。
死亡	原則として、55～59歳→60～64歳以下では、全国と都道府県の2005年→2010年の生残率の比から算出される生残率を都道府県内市町村に対して一律に適用。60～64歳→65～69歳以上では、これに加えて、都道府県と市町村の2000年→2005年の生残率の比から算出される生残率を市町村別に適用。
移動	原則として、2005～2010年の国勢調査(実績)に基づいて算出された純移動率が、2015～2020年までに定率で0.5倍に縮小し、その後はその値を一定と仮定。

(2) 趨勢人口を踏まえた将来人口シミュレーション

○趨勢人口の見通しを踏まえ、ここでは出生動向(合計特殊出生率)と移動動向(純定住率)について次のような仮定に基づくシミュレーションを行います。

○シミュレーションは、2015年以降を対象に行います。

[Sim1: 社人研推計+出生率上昇]

○国提示の基本的シミュレーションを踏まえ、社人研による推計をベースに、出生率の上昇を見込んだ推計です。

3要素	将来設定の基本的な考え方
出生	2020年以降について、合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準(2.1)まで上昇、その後は2.1を維持するものと仮定。
死亡	社人研推計と同様。
移動	趨勢(社人研推計補正)と同様

[Sim2 : Sim1 + 移動ゼロ]

○国提示の基本的シミュレーションを踏まえ、Sim1 をベースに、移動がゼロ（均衡）を見込んだ推計です。

3要素	将来設定の基本的な考え方
出生	合計特殊出生率が2030年までに人口置換水準（2.1）まで上昇、その後は2.1を維持するものと仮定。
死亡	社人研推計と同様。
移動	2015年以降の移動（純移動率）がゼロ（均衡）で推移すると仮定。

[Sim3 : 社人研推計 + 出生率上昇（年率5%） + 定住化（純定住率⇒1.0）]

○町の独自推計で、社人研推計をベースに、出生率の上昇（2.5まで）並びに純定住率の上昇を見込んだ推計です。

3要素	将来設定の基本的な考え方
出生	合計特殊出生率が2015年以降、一定の比率（年率5.0%）で上昇するものと仮定（合計特殊出生率の上限2.5設定）。
死亡	社人研推計と同様。
移動	社人研推計における純移動率設定をベースに、純定住率（=1+純移動率）という新たな視点を導入し、各年齢層を通じたライフサイクルでの純定住率（各年齢層の純定住率の積）の向上を仮定。 （転入超過人数は、現在の10人/年程度から増加傾向で推移し、2040年：約20人/年、2060年：約30人/年の場合）

[Sim4 : 社人研推計 + 出生率上昇（合計特殊出生率⇒2.07） + 定住化（純定住率⇒1.0）]

○町の独自推計で、社人研推計をベースに、出生率の上昇（県の設定に基づき2.07まで）並びに純定住率の上昇を見込んだ推計です。

3要素	将来設定の基本的な考え方
出生	県のシミュレーションを踏まえ、合計特殊出生率が2025年に「1.8」、2030年に「2.07」まで上昇、その後も2.07を維持するものと仮定。
死亡	社人研推計と同様。
移動	Sim3に加え、20代～40代を中心に定住が進むことを仮定。 （転入超過人数は、現在の10人/年程度から増加傾向で推移し、2040年：約32人/年、2060年：約36人/年の場合）

〈純移動率と純定住率について〉

- 純移動率とは、各コーホート人口（性別・年齢区分別人口）に対する当該コーホートの移動数の比率であり、転入超過の場合はプラス、転出超過の場合はマイナスとなります。
- 推計上、新たに導入する純定住率とは、この純移動率に1を加えた数値であり、転入超過の場合は1を超え、転出超過の場合は1未満（ゼロ以上）、また、転入・転出が均衡して移動ゼロの場合は1となります。
- 社人研推計における純移動率から算出される純定住率についてみると、各年齢層の純定住率の積（総積）が男性では1を超えているのに対し、女性では1未満の想定となっていることが分かります。
- これは、女性については、出生や死亡による人口変動要因を排除した場合、移動という要因だけで人口が減少していく構造であることを示しています。

〈社人研の純移動率設定から算出される純定住率設定〉

純定住率・男

	→2015年	→2020年	→2025年	→2030年	→2035年	→2040年	→2045年	→2050年	→2055年	→2060年
0～4歳→5～9歳	1.02604	1.01656	1.01724	1.01752	1.01821	1.01867	1.01867	1.01867	1.01867	1.01867
5～9歳→10～14歳	1.02048	1.01336	1.01472	1.01490	1.01506	1.01552	1.01552	1.01552	1.01552	1.01552
10～14歳→15～19歳	0.92254	0.94359	0.94348	0.94307	0.94302	0.94282	0.94282	0.94282	0.94282	0.94282
15～19歳→20～24歳	0.79526	0.86250	0.86285	0.86217	0.86107	0.86071	0.86071	0.86071	0.86071	0.86071
20～24歳→25～29歳	1.15403	1.10811	1.10120	1.09323	1.09745	1.09931	1.09931	1.09931	1.09931	1.09931
25～29歳→30～34歳	1.10367	1.09188	1.08505	1.07906	1.07098	1.07417	1.07417	1.07417	1.07417	1.07417
30～34歳→35～39歳	1.04988	1.03666	1.04569	1.04139	1.03830	1.03401	1.03401	1.03401	1.03401	1.03401
35～39歳→40～44歳	1.00645	1.00211	1.00311	1.00457	1.00362	1.00298	1.00298	1.00298	1.00298	1.00298
40～44歳→45～49歳	1.03245	1.01858	1.01589	1.01690	1.02074	1.01883	1.01883	1.01883	1.01883	1.01883
45～49歳→50～54歳	1.01256	1.00958	1.00778	1.00609	1.00673	1.00894	1.00894	1.00894	1.00894	1.00894
50～54歳→55～59歳	1.00368	1.00220	1.00385	1.00238	1.00112	1.00169	1.00169	1.00169	1.00169	1.00169
55～59歳→60～64歳	1.01000	1.00664	1.00930	1.01234	1.00955	1.00718	1.00718	1.00718	1.00718	1.00718
60～64歳→65～69歳	0.98627	0.98806	0.98861	0.98894	0.98912	0.98868	0.98868	0.98868	0.98868	0.98868
65～69歳→70～74歳	1.00851	1.00562	1.00406	1.00533	1.00705	1.00919	1.00919	1.00919	1.00919	1.00919
70～74歳→75～79歳	1.02286	1.01350	1.01471	1.01180	1.01402	1.01690	1.01690	1.01690	1.01690	1.01690
75～79歳→80～84歳	0.98127	0.98499	0.98313	0.98719	0.98236	0.98369	0.98369	0.98369	0.98369	0.98369
80～84歳→85～89歳	1.00714	1.00353	1.00278	1.00021	1.00515	0.99864	0.99864	0.99864	0.99864	0.99864
85歳以上→90歳以上	1.05235	1.05118	1.04497	1.03914	1.03674	1.04445	1.04445	1.04445	1.04445	1.04445
←総積	1.15928	1.14391	1.13358	1.11037	1.10384	1.10991	1.10991	1.10991	1.10991	1.10991

純定住率・女

	→2015年	→2020年	→2025年	→2030年	→2035年	→2040年	→2045年	→2050年	→2055年	→2060年
0～4歳→5～9歳	1.01922	1.01172	1.01224	1.01252	1.01305	1.01336	1.01336	1.01336	1.01336	1.01336
5～9歳→10～14歳	1.01235	1.00685	1.00780	1.00803	1.00816	1.00843	1.00843	1.00843	1.00843	1.00843
10～14歳→15～19歳	0.94272	0.95894	0.95882	0.95860	0.95859	0.95835	0.95835	0.95835	0.95835	0.95835
15～19歳→20～24歳	0.87468	0.92124	0.92224	0.92199	0.92114	0.92075	0.92075	0.92075	0.92075	0.92075
20～24歳→25～29歳	1.00220	1.01256	1.01340	1.01385	1.01397	1.01345	1.01345	1.01345	1.01345	1.01345
25～29歳→30～34歳	1.01480	1.01537	1.01814	1.01552	1.01588	1.01558	1.01558	1.01558	1.01558	1.01558
30～34歳→35～39歳	1.03177	1.02237	1.02779	1.02860	1.02422	1.02522	1.02522	1.02522	1.02522	1.02522
35～39歳→40～44歳	1.00573	1.00211	1.00323	1.00452	1.00481	1.00358	1.00358	1.00358	1.00358	1.00358
40～44歳→45～49歳	1.00600	1.00284	1.00259	1.00293	1.00395	1.00420	1.00420	1.00420	1.00420	1.00420
45～49歳→50～54歳	0.99810	0.99764	0.99754	0.99740	0.99750	0.99777	0.99777	0.99777	0.99777	0.99777
50～54歳→55～59歳	1.02562	1.01937	1.02113	1.02029	1.01871	1.01971	1.01971	1.01971	1.01971	1.01971
55～59歳→60～64歳	1.00392	1.00232	1.00358	1.00424	1.00392	1.00341	1.00341	1.00341	1.00341	1.00341
60～64歳→65～69歳	1.00309	1.00090	1.00135	1.00190	1.00226	1.00194	1.00194	1.00194	1.00194	1.00194
65～69歳→70～74歳	1.00263	1.00165	1.00043	1.00097	1.00161	1.00202	1.00202	1.00202	1.00202	1.00202
70～74歳→75～79歳	0.99795	0.99775	0.99890	0.99688	0.99752	0.99815	0.99815	0.99815	0.99815	0.99815
75～79歳→80～84歳	1.00410	1.00383	1.00337	1.00449	1.00055	1.00217	1.00217	1.00217	1.00217	1.00217
80～84歳→85～89歳	0.98770	0.99013	0.98970	0.98838	0.99251	0.98694	0.98694	0.98694	0.98694	0.98694
85歳以上→90歳以上	0.98387	0.99669	0.99139	0.98285	0.98067	0.98859	0.98859	0.98859	0.98859	0.98859
←総積	0.90911	0.96016	0.96900	0.95952	0.95485	0.95924	0.95924	0.95924	0.95924	0.95924

○この趨勢（社人研推計補正）における純定住率設定をベースに、女性について各年齢層の純定住率の積（総積）が2060年までに1.0にまで上昇することを仮定した純定住率は次のとおりです。

○男性の純定住率についても、女性の純定住率の上昇に応じて上昇することを仮定しています。

○こうした仮定は、今後の定住施策の推進を前提とするものです。

○Sim3では、下記の純定住率に基づき、純移動率を逆算して採用しています。（Sim4では、下記に加え、20代～40代の純定住率の上昇を仮定しています）

〈純定住率の積（総積）が上昇する仮定に基づく純定住率設定〉

純定住率・男

	→2015年	→2020年	→2025年	→2030年	→2035年	→2040年	→2045年	→2050年	→2055年	→2060年	
0～4歳→5～9歳	1.02604	1.01791	1.01971	1.02176	1.02339	1.02414	1.02475	1.02535	1.02595	1.02656	
5～9歳→10～14歳	1.02048	1.01471	1.01718	1.01913	1.02022	1.02098	1.02158	1.02218	1.02278	1.02338	
10～14歳→15～19歳	0.92254	0.94485	0.94577	0.94700	0.94782	0.94789	0.94844	0.94900	0.94956	0.95012	
15～19歳→20～24歳	0.79526	0.86365	0.86494	0.86576	0.86545	0.86533	0.86584	0.86635	0.86686	0.86737	
20～24歳→25～29歳	1.15403	1.10958	1.10387	1.09779	1.10303	1.10522	1.10587	1.10652	1.10717	1.10782	
25～29歳→30～34歳	1.10367	1.09333	1.08768	1.08356	1.07643	1.07994	1.08058	1.08121	1.08185	1.08249	
30～34歳→35～39歳	1.04988	1.03804	1.04823	1.04573	1.04358	1.03957	1.04018	1.04079	1.04140	1.04201	
35～39歳→40～44歳	1.00645	1.00344	1.00554	1.00876	1.00873	1.00837	1.00896	1.00956	1.01015	1.01074	
40～44歳→45～49歳	1.03245	1.01994	1.01835	1.02114	1.02593	1.02430	1.02491	1.02551	1.02611	1.02672	
45～49歳→50～54歳	1.01256	1.01092	1.01022	1.01028	1.01185	1.01436	1.01496	1.01556	1.01615	1.01675	
50～54歳→55～59歳	1.00368	1.00353	1.00628	1.00656	1.00621	1.00707	1.00766	1.00826	1.00885	1.00944	
55～59歳→60～64歳	1.01000	1.00798	1.01175	1.01656	1.01469	1.01259	1.01319	1.01378	1.01438	1.01498	
60～64歳→65～69歳	0.98627	0.98937	0.99101	0.99306	0.99415	0.99399	0.99458	0.99516	0.99575	0.99633	
65～69歳→70～74歳	1.00851	1.00696	1.00649	1.00952	1.01217	1.01461	1.01521	1.01581	1.01640	1.01700	
70～74歳→75～79歳	1.02286	1.01485	1.01717	1.01602	1.01918	1.02236	1.02297	1.02357	1.02417	1.02477	
75～79歳→80～84歳	0.98127	0.98630	0.98551	0.99130	0.98736	0.98898	0.98956	0.99014	0.99072	0.99131	
80～84歳→85～89歳	1.00714	1.00487	1.00521	1.00438	1.01026	1.00401	1.00460	1.00519	1.00578	1.00637	
85歳以上→90歳以上	1.05235	1.05258	1.04750	1.04347	1.04202	1.05006	1.05068	1.05130	1.05192	1.05254	
	1.15928	1.17162	1.184091	1.196694	1.209431	1.222305	1.235315	1.248463	1.261752	1.275182	←総積の設定

純定住率・女

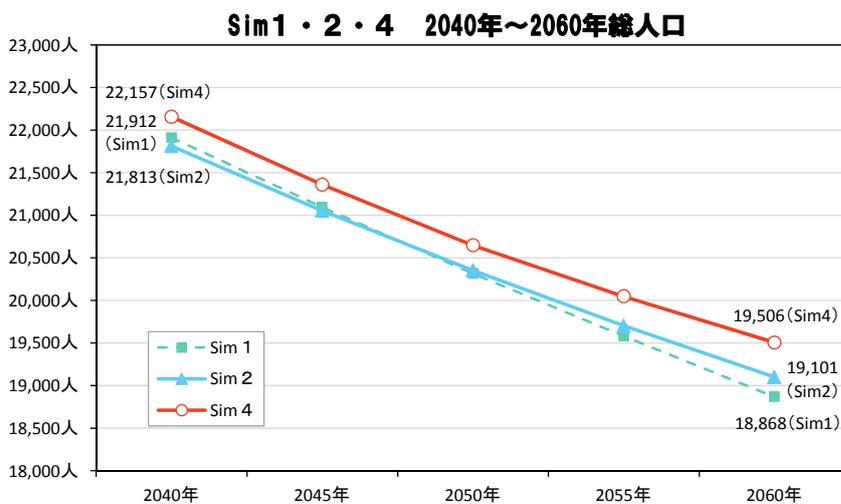
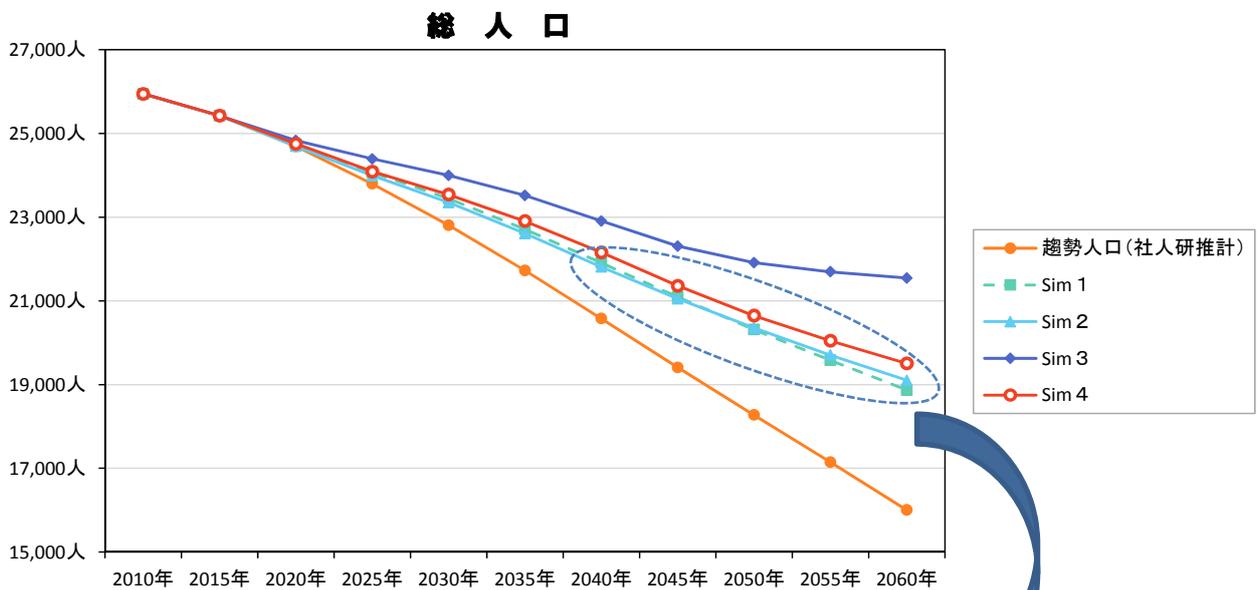
	→2015年	→2020年	→2025年	→2030年	→2035年	→2040年	→2045年	→2050年	→2055年	→2060年	
0～4歳→5～9歳	1.01922	1.00925	1.00985	1.01127	1.01267	1.01332	1.01391	1.01451	1.01511	1.01571	
5～9歳→10～14歳	1.01235	1.00439	1.00542	1.00679	1.00778	1.00839	1.00898	1.00958	1.01017	1.01076	
10～14歳→15～19歳	0.94272	0.95660	0.95655	0.95742	0.95823	0.95831	0.95887	0.95944	0.96000	0.96057	
15～19歳→20～24歳	0.87468	0.91899	0.92006	0.92085	0.92080	0.92071	0.92125	0.92180	0.92234	0.92288	
20～24歳→25～29歳	1.00220	1.01009	1.01100	1.01260	1.01359	1.01341	1.01400	1.01460	1.01520	1.01580	
25～29歳→30～34歳	1.01480	1.01289	1.01573	1.01427	1.01550	1.01554	1.01614	1.01673	1.01733	1.01793	
30～34歳→35～39歳	1.03177	1.01987	1.02536	1.02733	1.02384	1.02518	1.02578	1.02638	1.02699	1.02759	
35～39歳→40～44歳	1.00573	0.99966	1.00086	1.00328	1.00443	1.00354	1.00413	1.00472	1.00531	1.00590	
40～44歳→45～49歳	1.00600	1.00039	1.00022	1.00169	1.00357	1.00416	1.00475	1.00534	1.00593	1.00652	
45～49歳→50～54歳	0.99810	0.99520	0.99518	0.99617	0.99713	0.99773	0.99832	0.99890	0.99949	1.00008	
50～54歳→55～59歳	1.02562	1.01688	1.01872	1.01903	1.01833	1.01967	1.02027	1.02087	1.02147	1.02207	
55～59歳→60～64歳	1.00392	0.99987	1.00121	1.00300	1.00354	1.00337	1.00396	1.00455	1.00514	1.00573	
60～64歳→65～69歳	1.00309	0.99845	0.99898	1.00066	1.00188	1.00190	1.00249	1.00308	1.00367	1.00426	
65～69歳→70～74歳	1.00263	0.99920	0.99806	0.99974	1.00124	1.00198	1.00257	1.00316	1.00375	1.00434	
70～74歳→75～79歳	0.99795	0.99531	0.99654	0.99565	0.99715	0.99811	0.99870	0.99928	0.99987	1.00046	
75～79歳→80～84歳	1.00410	1.00138	1.00100	1.00325	1.00018	1.00213	1.00272	1.00331	1.00390	1.00449	
80～84歳→85～89歳	0.98770	0.98771	0.98736	0.98716	0.99214	0.98690	0.98748	0.98806	0.98864	0.98922	
85歳以上→90歳以上	0.98387	0.99425	0.98905	0.98164	0.98030	0.98855	0.98913	0.98971	0.99030	0.99088	
	0.90911	0.918787	0.928566	0.93845	0.948438	0.958534	0.968736	0.979047	0.989468	1	←総積の設定

[シミュレーション結果]

○2060年では、“趨勢”が16,003人であるのに対し、“Sim3”では21,547人、“Sim4”では19,506人となっています。

(単位：人)

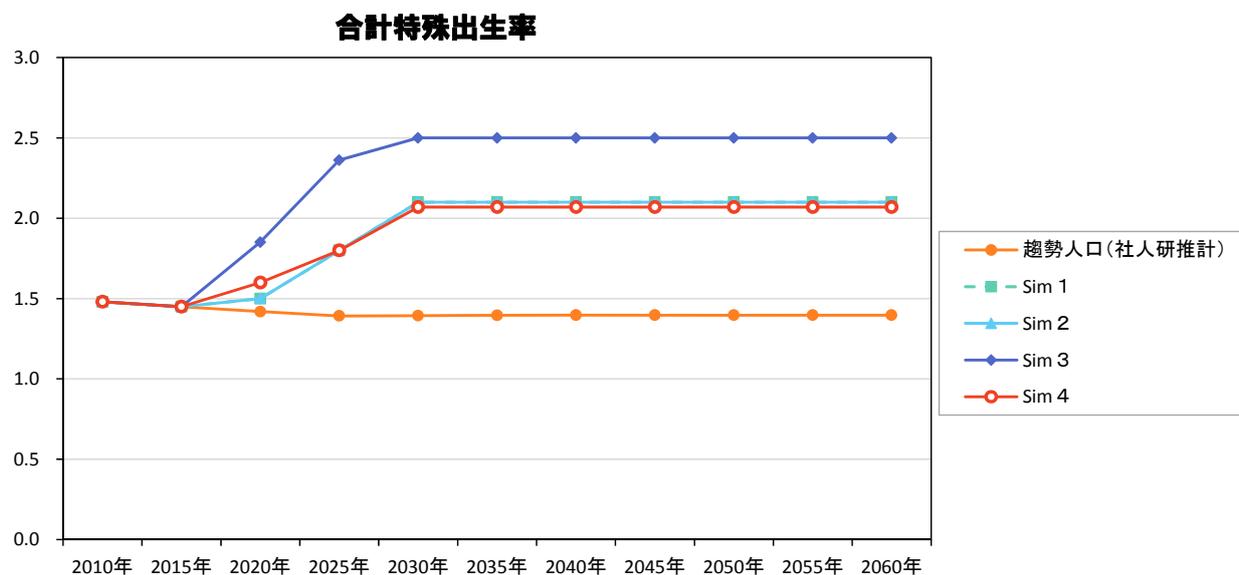
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口（社人研推計）	25,948	25,427	24,689	23,797	22,809	21,727	20,577	19,411	18,274	17,146	16,003
Sim1	25,948	25,427	24,738	24,071	23,447	22,715	21,912	21,096	20,317	19,581	18,868
Sim2	25,948	25,427	24,693	23,992	23,350	22,612	21,813	21,053	20,353	19,704	19,101
Sim3	25,948	25,427	24,832	24,394	23,998	23,519	22,909	22,308	21,913	21,696	21,547
Sim4	25,948	25,427	24,755	24,090	23,539	22,906	22,157	21,360	20,647	20,049	19,506



① 合計特殊出生率の見通し

- “趨勢”では、合計特殊出生率が緩やかに下降し、2025年以降は1.39～1.40で推移します。
- “Sim1” “Sim2”では緩やかに上昇し、2030年以降は2.10で推移します。
- “Sim3”では、定率（年率5.0%増）で上昇推移し、2030年以降は2.50で推移します。
- “Sim4”では、2030年に人口置換水準である2.07まで上昇し、その後一定で推移します。

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口（社人研推計）	1.48	1.45	1.42	1.39	1.39	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
Sim1	1.48	1.45	1.50	1.80	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10
Sim2	1.48	1.45	1.50	1.80	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10
Sim3	1.48	1.45	1.85	2.36	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
Sim4	1.48	1.45	1.60	1.80	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07



② 出生数の見通し

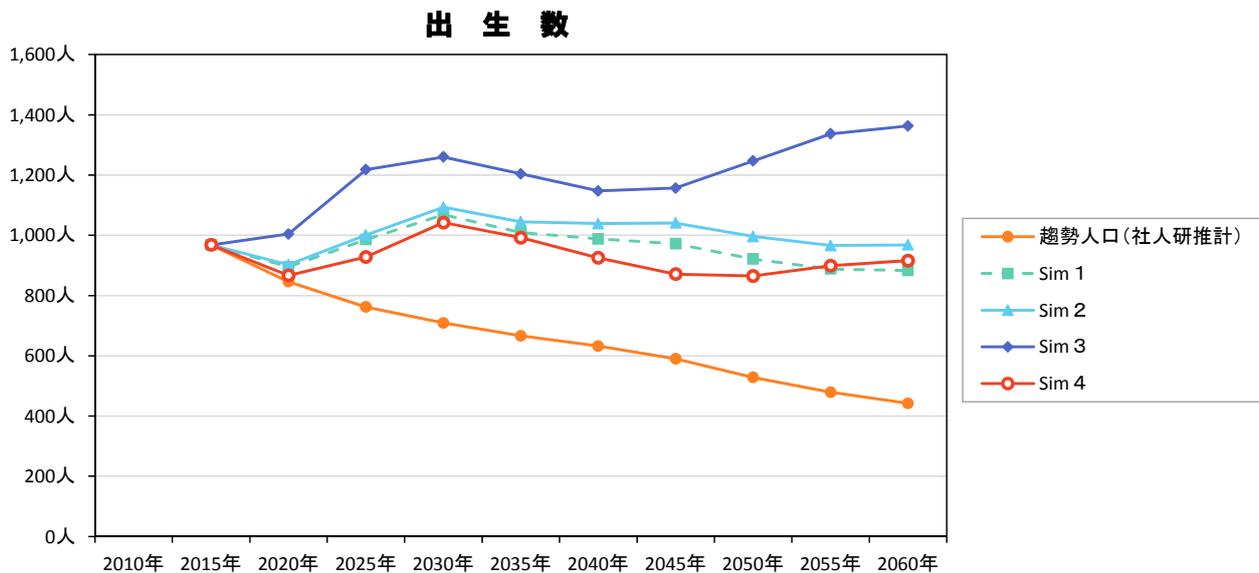
○出生数は、合計特殊出生率と15～49歳の女性人口との関係で変動します。

○合計特殊出生率が最も高い“Sim3”においても、一時的に出生数が減少する時期があるのもそのためです。

(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口(社人研推計)		968	846	762	709	666	632	590	528	479	442
Sim1		968	895	986	1,068	1,009	988	972	921	888	883
Sim2		968	902	1,001	1,093	1,045	1,039	1,041	996	966	968
Sim3		968	1,004	1,218	1,260	1,204	1,147	1,157	1,247	1,337	1,363
Sim4		968	873	939	1,060	1,012	944	891	888	926	947

※数値は5年間の合計数



③ 死亡数の見通し

○死亡数は、性別・年齢別の生残率を用いて推計しますが、自治体単位での取り組み成果としてその変動を期待することは難しいため、すべてのシミュレーションにおいて同じ生残率を用いています。

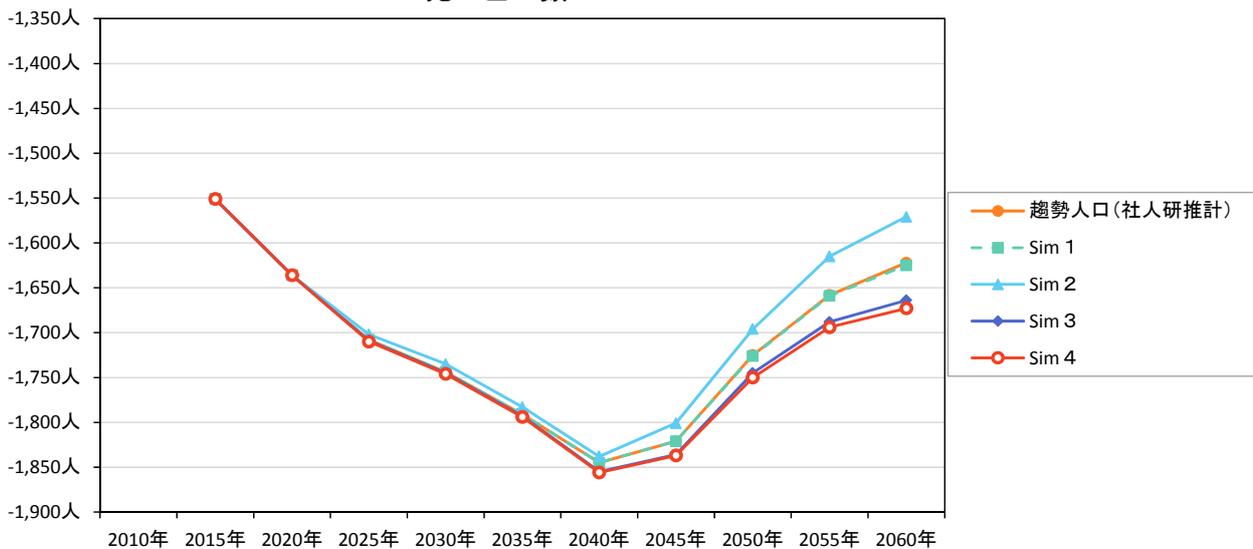
○したがって、各シミュレーションによる差異は、出生や移動に伴う人口の差異によるものです。

(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口(社人研推計)		-1,551	-1,636	-1,708	-1,744	-1,791	-1,845	-1,821	-1,725	-1,658	-1,622
Sim 1		-1,551	-1,636	-1,708	-1,744	-1,791	-1,845	-1,821	-1,726	-1,659	-1,625
Sim 2		-1,551	-1,636	-1,702	-1,735	-1,783	-1,838	-1,801	-1,696	-1,615	-1,571
Sim 3		-1,551	-1,636	-1,709	-1,745	-1,793	-1,855	-1,836	-1,745	-1,688	-1,664
Sim 4		-1,551	-1,636	-1,710	-1,746	-1,794	-1,856	-1,837	-1,750	-1,694	-1,673

※数値は5年間の合計数

死亡数



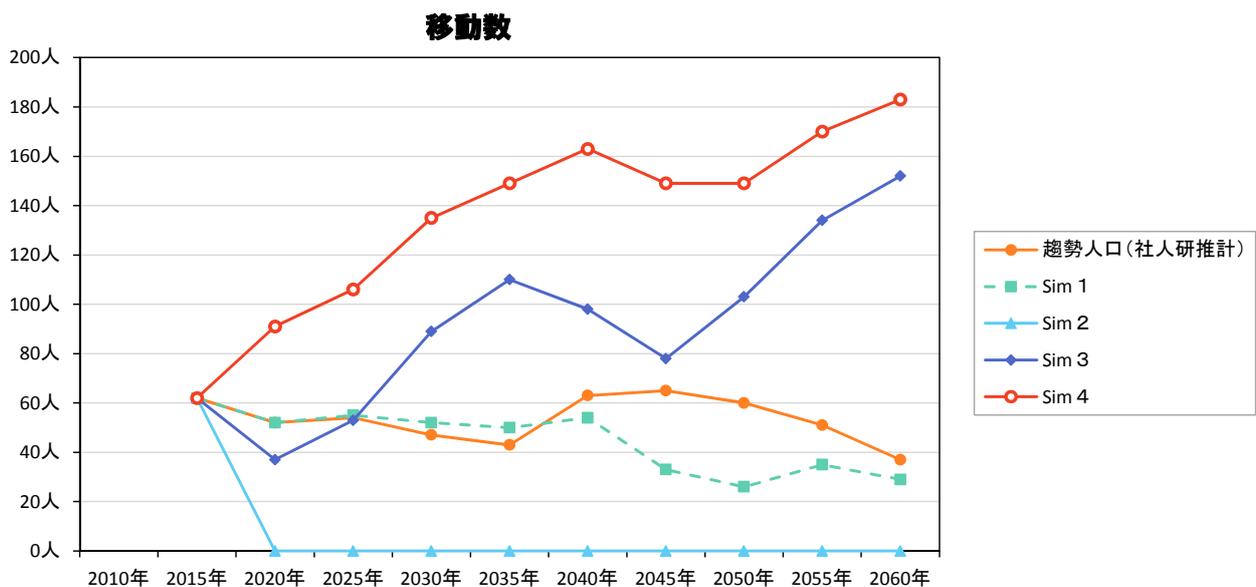
④ 移動数の見通し

- 基本的には、全国的な総移動数の縮小傾向を背景に、移動数が縮小していく推計となっています。
- “Sim 2” では、移動ゼロを想定しています。
- “Sim 3” “Sim 4” では、純移動率に基づく純定住率という概念を用いた上で、この純定住率の緩やかな上昇を想定しているため、転入超過が拡大していくことが想定されています。

(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口(社人研推計)		62	52	54	47	43	63	65	60	51	37
Sim 1		62	52	55	52	50	54	33	26	35	29
Sim 2		62	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Sim 3		62	37	53	89	110	98	78	103	134	152
Sim 4		62	91	106	135	149	163	149	149	170	183

※数値は5年間の合計数



⑤ 人口の変化（自然動態+社会動態）の見通し

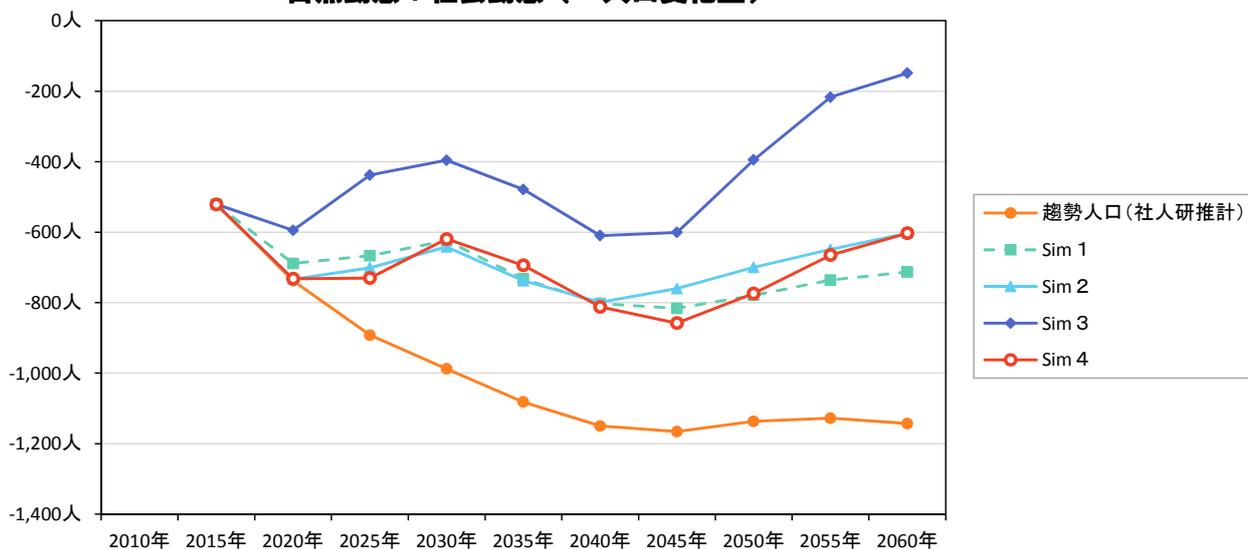
- ここまでに示した変動3要素を合わせた人口変化量として示すと次のとおりです。
- “Sim3”では、2045年以降、急速に人口減少幅が縮小していきます。
- “Sim4”では、2045年以降、緩やかに人口減少幅が縮小していきます。

(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口（社人研推計）		-521	-738	-892	-988	-1,082	-1,150	-1,166	-1,137	-1,128	-1,143
Sim1		-521	-689	-667	-624	-732	-803	-816	-779	-736	-713
Sim2		-521	-734	-701	-642	-738	-799	-760	-700	-649	-603
Sim3		-521	-595	-438	-396	-479	-610	-601	-395	-217	-149
Sim4		-521	-672	-665	-551	-633	-749	-797	-713	-598	-543

※数値は5年間の合計数

自然動態+社会動態（=人口変化量）



⑥ 年齢構造別人口の見通し

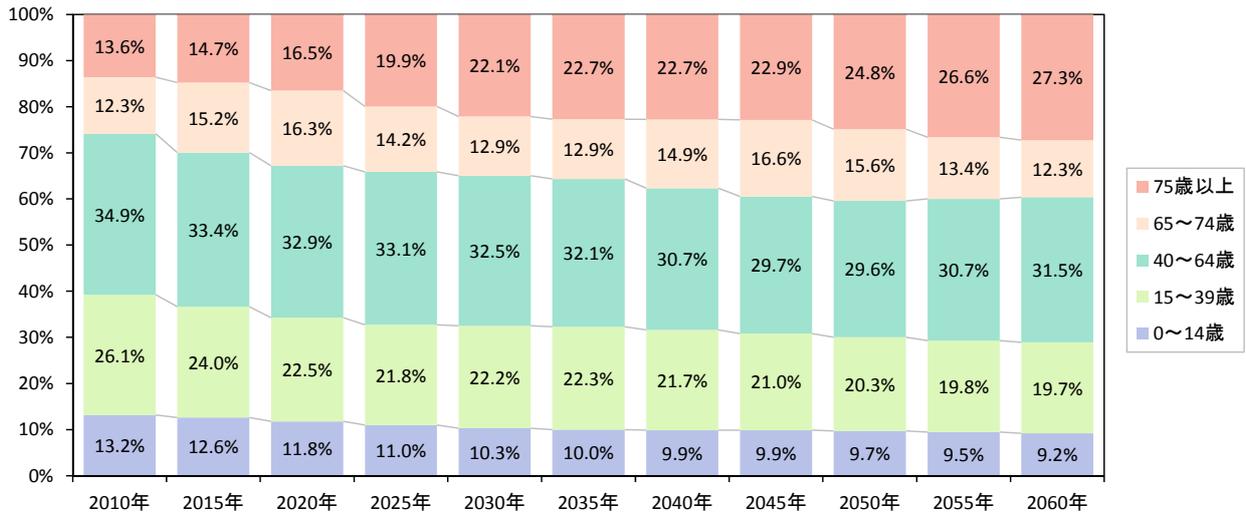
○推計結果について、年齢構造別に示すと次のとおりです。

(単位：人)

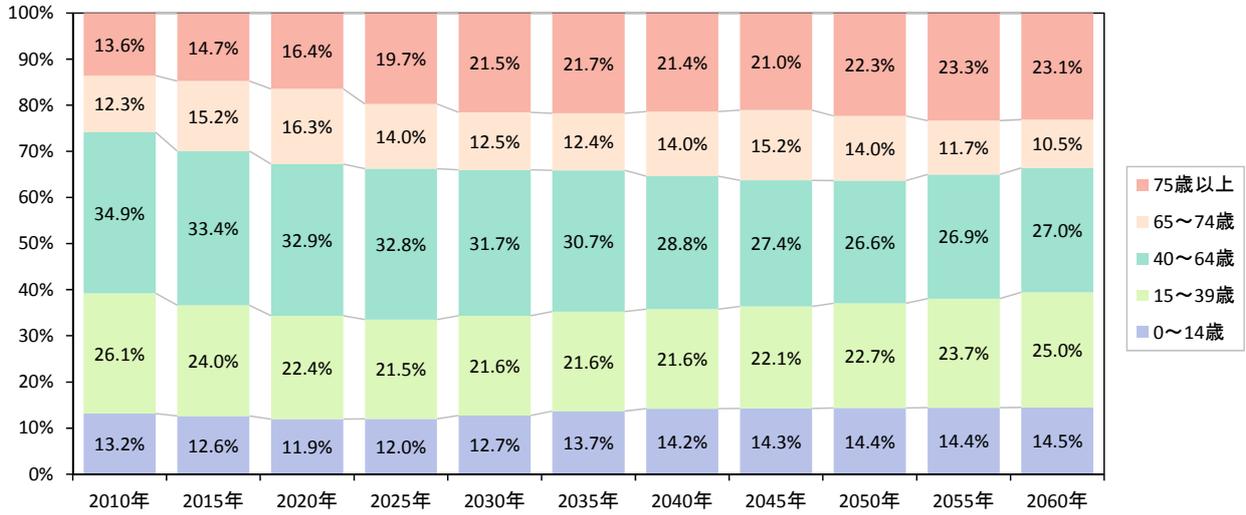
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口（社人研推計）	25,948	25,427	24,689	23,797	22,809	21,727	20,577	19,411	18,274	17,146	16,003
0～14歳	3,416	3,207	2,904	2,612	2,349	2,167	2,036	1,916	1,778	1,622	1,470
15～39歳	6,763	6,110	5,551	5,179	5,064	4,850	4,474	4,071	3,710	3,397	3,158
40～64歳	9,064	8,497	8,134	7,887	7,423	6,964	6,318	5,771	5,403	5,269	5,038
65～74歳	3,182	3,867	4,033	3,377	2,931	2,812	3,068	3,215	2,846	2,295	1,976
75歳以上	3,523	3,746	4,067	4,742	5,042	4,934	4,681	4,438	4,537	4,563	4,361
Sim 1	25,948	25,427	24,738	24,071	23,447	22,715	21,912	21,096	20,317	19,581	18,868
0～14歳	3,416	3,207	2,953	2,886	2,987	3,106	3,109	3,011	2,923	2,823	2,732
15～39歳	6,763	6,110	5,551	5,179	5,064	4,899	4,736	4,661	4,608	4,631	4,710
40～64歳	9,064	8,497	8,134	7,887	7,423	6,964	6,318	5,771	5,403	5,269	5,089
65～74歳	3,182	3,867	4,033	3,377	2,931	2,812	3,068	3,215	2,846	2,295	1,976
75歳以上	3,523	3,746	4,067	4,742	5,042	4,934	4,681	4,438	4,537	4,563	4,361
Sim 2	25,948	25,427	24,693	23,992	23,350	22,612	21,813	21,053	20,353	19,704	19,101
0～14歳	3,416	3,207	2,937	2,871	2,996	3,139	3,177	3,125	3,076	3,003	2,930
15～39歳	6,763	6,110	5,584	5,272	5,242	5,220	5,087	5,011	4,991	5,063	5,201
40～64歳	9,064	8,497	8,082	7,749	7,169	6,559	5,908	5,419	5,128	5,097	5,066
65～74歳	3,182	3,867	4,036	3,384	2,907	2,760	2,988	3,125	2,730	2,107	1,709
75歳以上	3,523	3,746	4,054	4,716	5,036	4,934	4,653	4,373	4,428	4,434	4,195
Sim 3	25,948	25,427	24,832	24,394	23,998	23,519	22,909	22,308	21,913	21,696	21,547
0～14歳	3,416	3,207	3,062	3,228	3,528	3,741	3,674	3,569	3,613	3,809	4,022
15～39歳	6,763	6,110	5,548	5,176	5,068	5,024	5,091	5,202	5,352	5,546	5,727
40～64歳	9,064	8,497	8,128	7,882	7,430	6,991	6,358	5,824	5,477	5,369	5,319
65～74歳	3,182	3,867	4,031	3,374	2,931	2,819	3,084	3,243	2,882	2,334	2,024
75歳以上	3,523	3,746	4,063	4,734	5,041	4,944	4,702	4,470	4,589	4,638	4,455
Sim 4	25,948	25,427	24,755	24,090	23,539	22,906	22,157	21,360	20,647	20,049	19,506
0～14歳	3,416	3,207	2,931	2,817	2,912	3,057	3,068	2,898	2,773	2,755	2,814
15～39歳	6,763	6,110	5,579	5,228	5,138	4,973	4,774	4,704	4,661	4,652	4,695
40～64歳	9,064	8,497	8,151	7,937	7,517	7,113	6,518	6,014	5,682	5,585	5,405
65～74歳	3,182	3,867	4,031	3,374	2,931	2,819	3,095	3,274	2,932	2,392	2,087
75歳以上	3,523	3,746	4,063	4,734	5,041	4,944	4,702	4,470	4,599	4,665	4,505

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口（社人研推計）	25,948	25,427	24,689	23,797	22,809	21,727	20,577	19,411	18,274	17,146	16,003
0～14歳	13.2%	12.6%	11.8%	11.0%	10.3%	10.0%	9.9%	9.9%	9.7%	9.5%	9.2%
15～39歳	26.1%	24.0%	22.5%	21.8%	22.2%	22.3%	21.7%	21.0%	20.3%	19.8%	19.7%
40～64歳	34.9%	33.4%	32.9%	33.1%	32.5%	32.1%	30.7%	29.7%	29.6%	30.7%	31.5%
65～74歳	12.3%	15.2%	16.3%	14.2%	12.9%	12.9%	14.9%	16.6%	15.6%	13.4%	12.3%
75歳以上	13.6%	14.7%	16.5%	19.9%	22.1%	22.7%	22.7%	22.9%	24.8%	26.6%	27.3%
Sim 1	25,948	25,427	24,738	24,071	23,447	22,715	21,912	21,096	20,317	19,581	18,868
0～14歳	13.2%	12.6%	11.9%	12.0%	12.7%	13.7%	14.2%	14.3%	14.4%	14.4%	14.5%
15～39歳	26.1%	24.0%	22.4%	21.5%	21.6%	21.6%	21.6%	22.1%	22.7%	23.7%	25.0%
40～64歳	34.9%	33.4%	32.9%	32.8%	31.7%	30.7%	28.8%	27.4%	26.6%	26.9%	27.0%
65～74歳	12.3%	15.2%	16.3%	14.0%	12.5%	12.4%	14.0%	15.2%	14.0%	11.7%	10.5%
75歳以上	13.6%	14.7%	16.4%	19.7%	21.5%	21.7%	21.4%	21.0%	22.3%	23.3%	23.1%
Sim 2	25,948	25,427	24,693	23,992	23,350	22,612	21,813	21,053	20,353	19,704	19,101
0～14歳	13.2%	12.6%	11.9%	12.0%	12.8%	13.9%	14.6%	14.8%	15.1%	15.2%	15.3%
15～39歳	26.1%	24.0%	22.6%	22.0%	22.4%	23.1%	23.3%	23.8%	24.5%	25.7%	27.2%
40～64歳	34.9%	33.4%	32.7%	32.3%	30.7%	29.0%	27.1%	25.7%	25.2%	25.9%	26.5%
65～74歳	12.3%	15.2%	16.3%	14.1%	12.4%	12.2%	13.7%	14.8%	13.4%	10.7%	8.9%
75歳以上	13.6%	14.7%	16.4%	19.7%	21.6%	21.8%	21.3%	20.8%	21.8%	22.5%	22.0%
Sim 3	25,948	25,427	24,832	24,394	23,998	23,519	22,909	22,308	21,913	21,696	21,547
0～14歳	13.2%	12.6%	12.3%	13.2%	14.7%	15.9%	16.0%	16.0%	16.5%	17.6%	18.7%
15～39歳	26.1%	24.0%	22.3%	21.2%	21.1%	21.4%	22.2%	23.3%	24.4%	25.6%	26.6%
40～64歳	34.9%	33.4%	32.7%	32.3%	31.0%	29.7%	27.8%	26.1%	25.0%	24.7%	24.7%
65～74歳	12.3%	15.2%	16.2%	13.8%	12.2%	12.0%	13.5%	14.5%	13.2%	10.8%	9.4%
75歳以上	13.6%	14.7%	16.4%	19.4%	21.0%	21.0%	20.5%	20.0%	20.9%	21.4%	20.7%
Sim 4	25,948	25,427	24,755	24,090	23,539	22,906	22,157	21,360	20,647	20,049	19,506
0～14歳	13.2%	12.6%	11.8%	11.7%	12.4%	13.3%	13.8%	13.6%	13.4%	13.7%	14.4%
15～39歳	26.1%	24.0%	22.5%	21.7%	21.8%	21.7%	21.5%	22.0%	22.6%	23.2%	24.1%
40～64歳	34.9%	33.4%	32.9%	32.9%	31.9%	31.1%	29.4%	28.2%	27.5%	27.9%	27.7%
65～74歳	12.3%	15.2%	16.3%	14.0%	12.5%	12.3%	14.0%	15.3%	14.2%	11.9%	10.7%
75歳以上	13.6%	14.7%	16.4%	19.7%	21.4%	21.6%	21.2%	20.9%	22.3%	23.3%	23.1%

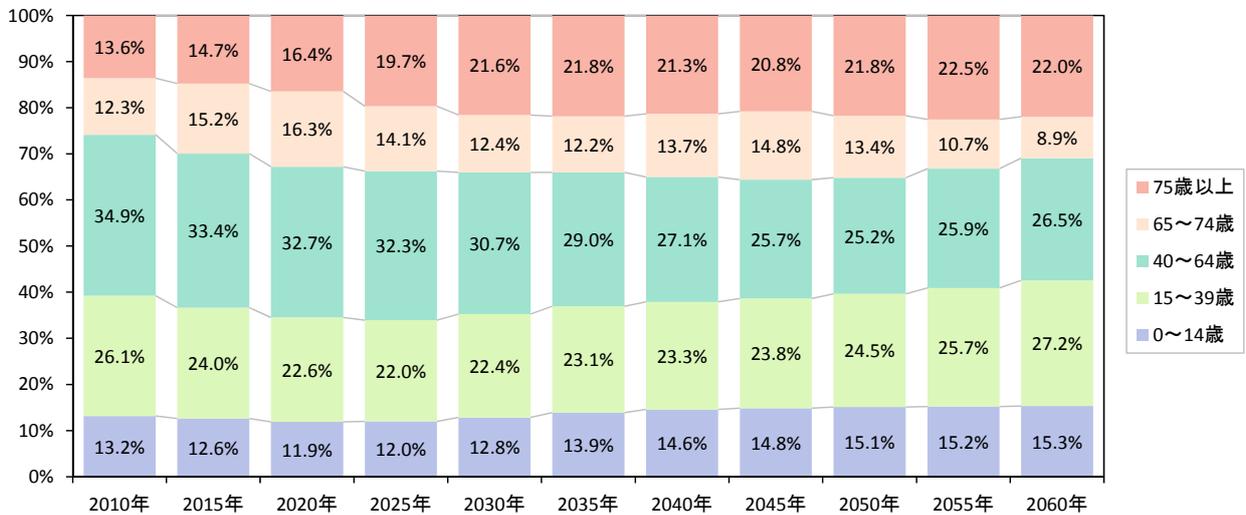
趨勢人口（社人研推計）：年齡構成比



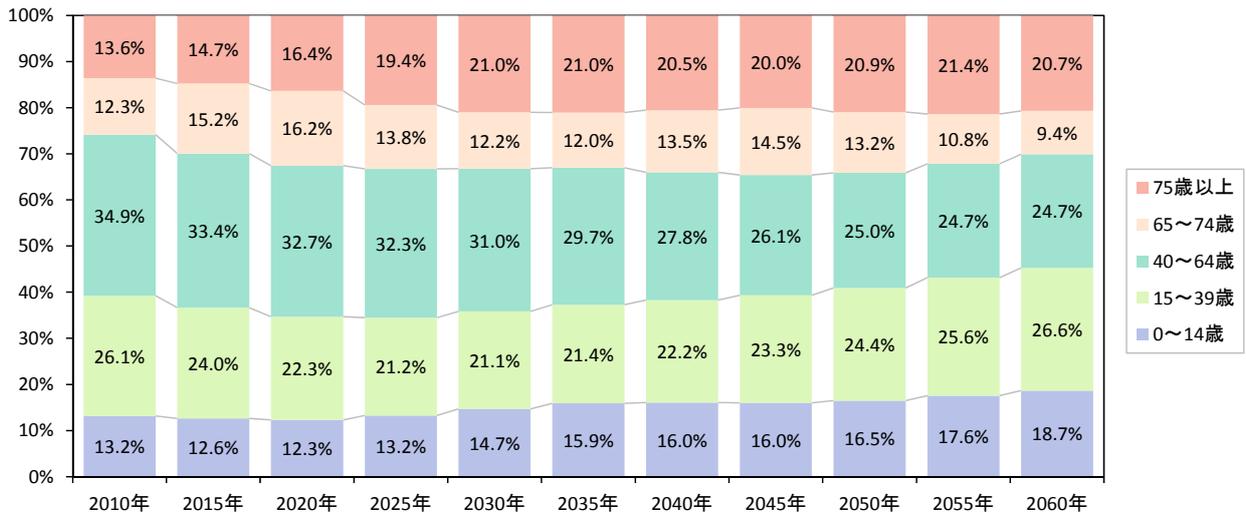
Sim1：年齡構成比



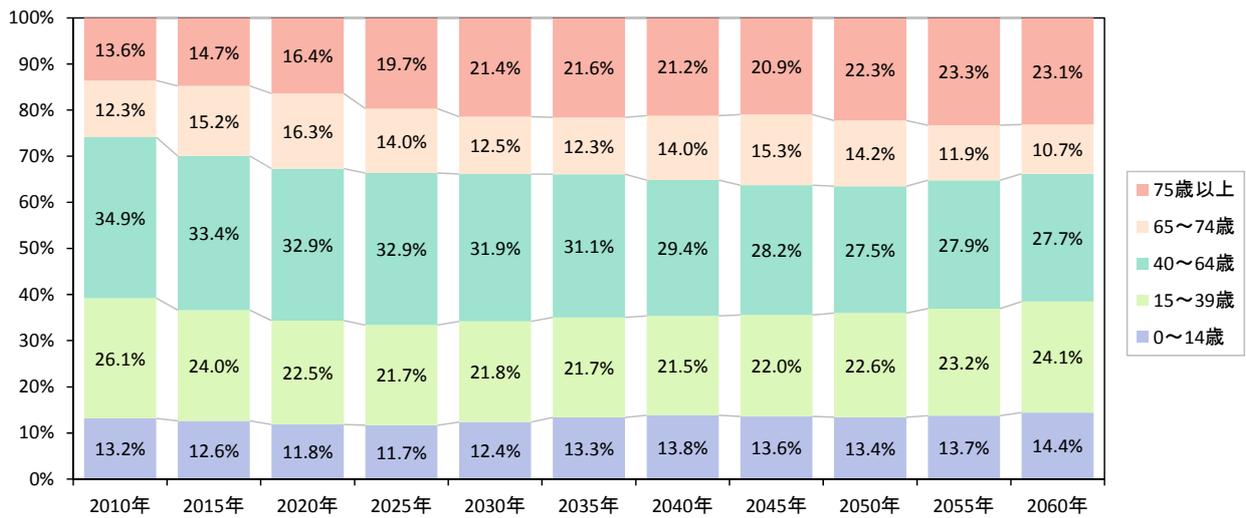
Sim2：年齡構成比



Sim3 : 年齡構成比



Sim4 : 年齡構成比



3. 課題と影響

①石井町における人口動向・構造の特性と課題

<自然動態>

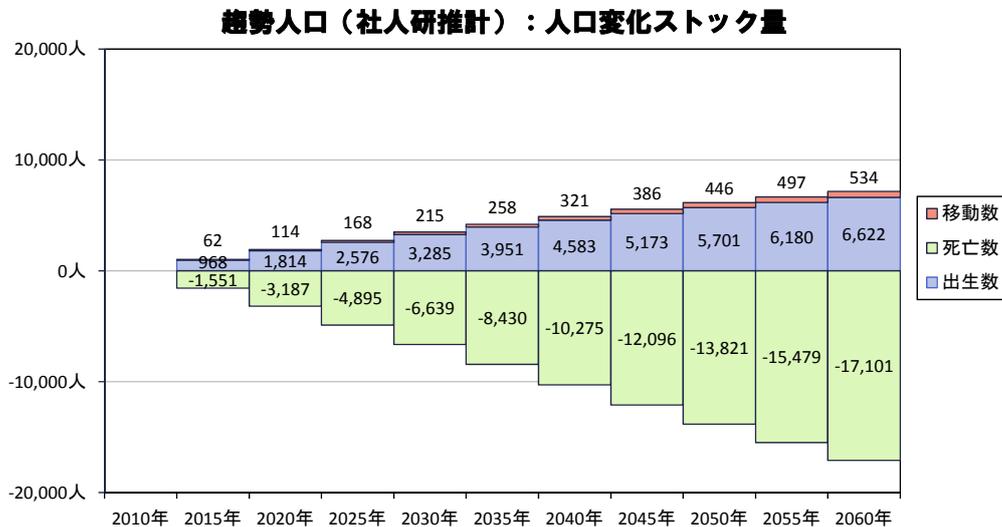
- 本町の総人口は、高度経済成長期に伴い、昭和40年に20,714人まで減少した後再び増加し、平成22年には25,954人となっています。
- 昭和55年から平成22年にかけて、年少人口（0～14歳）比率は22.0%から13.2%に減少したのに対し、高齢化率は11.7%から25.8%に増加しており、本町においても少子高齢化が進行しています。
- 出生数については、年間200人前後で推移していますが、平成26年には175人となり、減少の傾向もみられます。
- 合計特殊出生率は、年次による変動がありますが、平成22～26年の5年間でみると、平成24年を除き、国・徳島県に比べ低い数値で推移しており、平成26年では1.25となっています。
- 死亡数については、年間300人前後となり、やや増加傾向で推移しています。出生数と合わせた自然動態としては年間でマイナス100人程度ですが、このマイナス幅についても拡大傾向にあります。
- 今後は、いかに出生数を増やしていくかが課題となり、そのためには若い世代の「出会い⇒結婚⇒出産⇒子育て」といったライフサイクルに対する一貫した環境づくりが重要となります。

<社会動態>

- 転入・転出ともに年間750～850人程度で推移しています。転入・転出を合わせた社会動態をみると、平成23～25年は社会増で推移した後、平成26年には再び社会減に転じています。
- 転入・転出といった移動の特に多い年代は、男女ともに20～44歳であり、進学・就職や結婚等のライフイベントに伴う移動と考えられます。
- 転入元・転出先については、各年代ともに徳島市が最も多く、転入・転出ともに約3割を占めています。
- 通勤・通学の状況については、15歳以上の就業者・通学者13,093人のうち、町内への通勤・通学者が5,491人で41.9%を占めています。
- 町外への通勤・通学者7,602人のうち、通勤・通学先として最も多いのは徳島市で4,582人と全体の60.3%を占めています。
- 逆に、本町への通勤・通学者4,220人についても、徳島市からの通勤・通学者が1,715人と最も多く40.6%となっています。
- また、町内従業の就業者では、卸売業・製造業が最も多く1,936人となっています。
- 今後は、いかに転出を抑制し転入を促進するかが重要な課題となり、転入超過への転向を目指したさらなる取り組みが必要とされます。

②将来人口の見通しとその影響

○今後の趨勢人口（社人研推計）として、2010年の25,948人から2060年には16,003人程度へと減少することが見込まれ、その減少の多くは死亡によるものです。下図に示すとおり、2010年から2060年までの50年間で計17,000人程度の死亡が見込まれています。



○上記のような人口減少が今後も進んだ場合の影響としては、以下の点が挙げられます。

（1）町民生活への影響

- ・一定数の人口の上に成り立つ身近な各種サービス（小売、飲食、娯楽、医療など）が、人口減に伴い地域から減少、また、公共施設や学校の統廃合等により様々なサービス・利便性の低下が想定されます。
- ・また、単に住民生活が不便になるというだけでなく、近隣住民同士の付き合いや地域活動への参加などが減少し、自治会や町内会、消防団などの地域の自立的な活動にも影響を及ぼしていくことが懸念されます。
- ・こうした都市機能・生活機能の低下により、さらに人口の転出を促すという悪循環に入り込むことが危惧されます。

（2）地域経済への影響

- ・人口減少は、地域における消費活動を減退させるだけでなく、労働に従事する人口も減少することから、女性や高齢者の活用が進まない場合、労働力不足やそれに伴う生産量の低下が懸念されます。
- ・さらに、経済規模の縮小がいったん始まると、それがさらなる縮小を招くという「縮小スパイラル」に陥るリスクがあります。

（3）行財政への影響

- ・経済規模が縮小していく場合、それに伴い税収等の落込みが予想されますが、人件費や公債費、社会保障関係経費等は、歳入の減少に応じた削減が困難であり、財政の硬直化が進行する恐れがあります。
- ・中でも、少子高齢化の進行により、年金、医療、介護等の社会保障に係る将来の財政負担はますます大きくなり、家計や企業の経済活動に大きな影響を与えます。

Ⅲ. 人口の将来展望

1. 将来展望に必要な調査・分析

(1) アンケートの実施概況

○石井町における人口の将来展望の基礎資料とするため、住民へのアンケート調査を実施いたしました。調査の対象者や回収数等については、下記のとおりです。

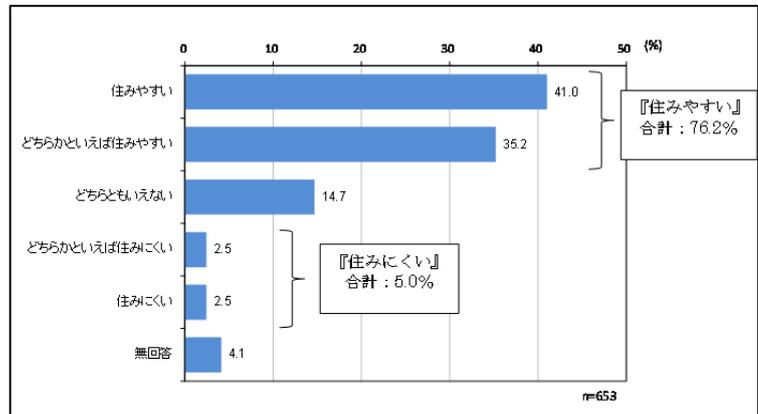
項目	内容
調査名	地方創生に関する町民アンケート
調査対象	15歳以上50歳未満の住民から無作為に抽出
調査期間	平成27年7月上旬～7月下旬
配布数	2,000票
有効回収数	653票
回収率	32.7%

(2) アンケートの結果概要

住みやすさについて

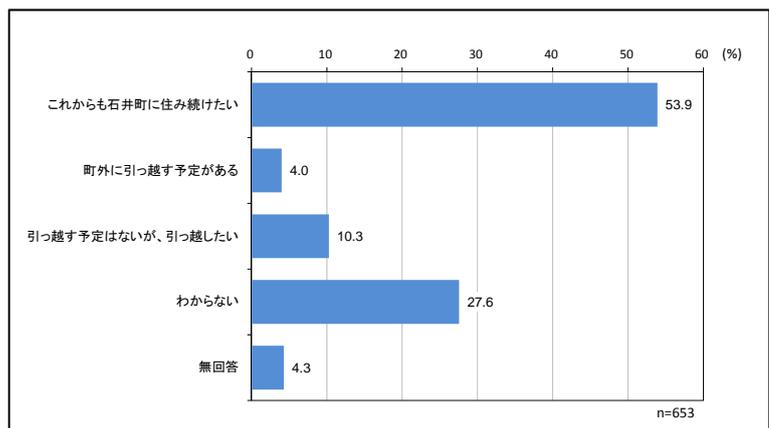
①住みやすさについて

「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が7割以上となっています。



②定住意向

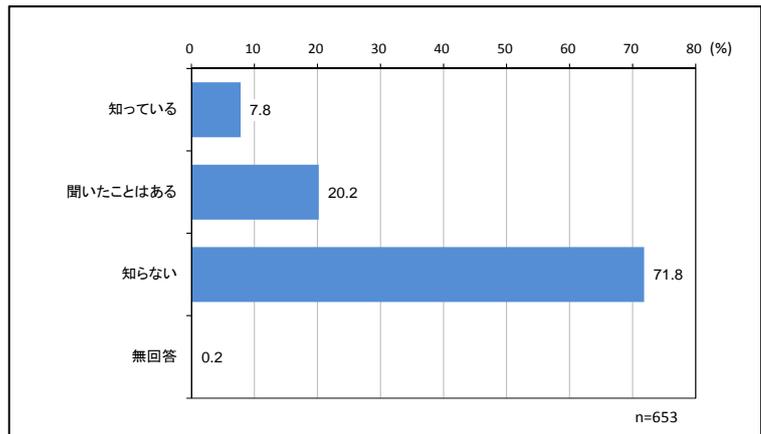
「これからも石井町に住み続けたい」と答えた方が過半数となっています。



人口減少社会について

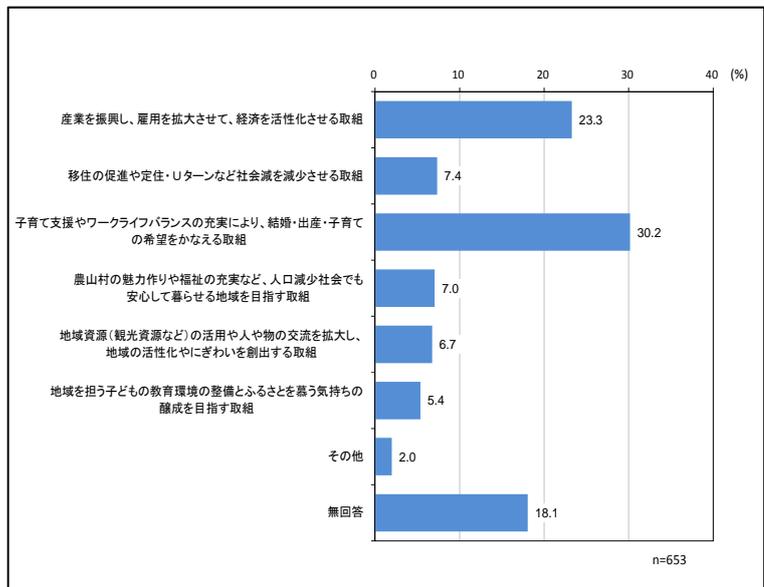
③人口推計の認知度

「知らない」が7割以上となっています。



④人口減少に対して町が取り組むべきこと

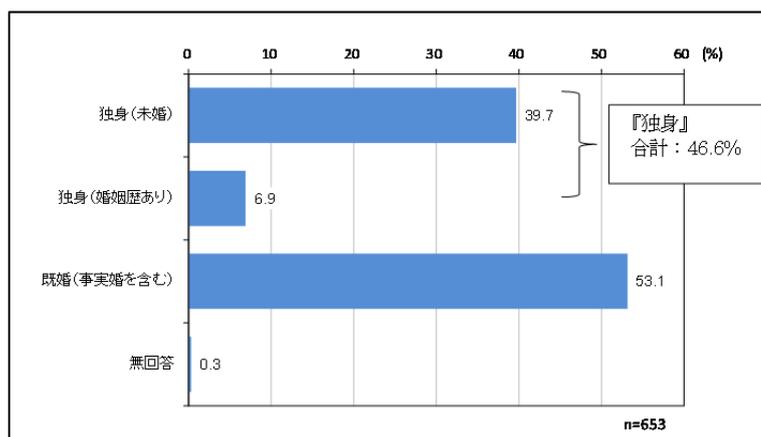
「子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」30.2%が最も多く、次いで「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」23.3%となっています。



結婚について

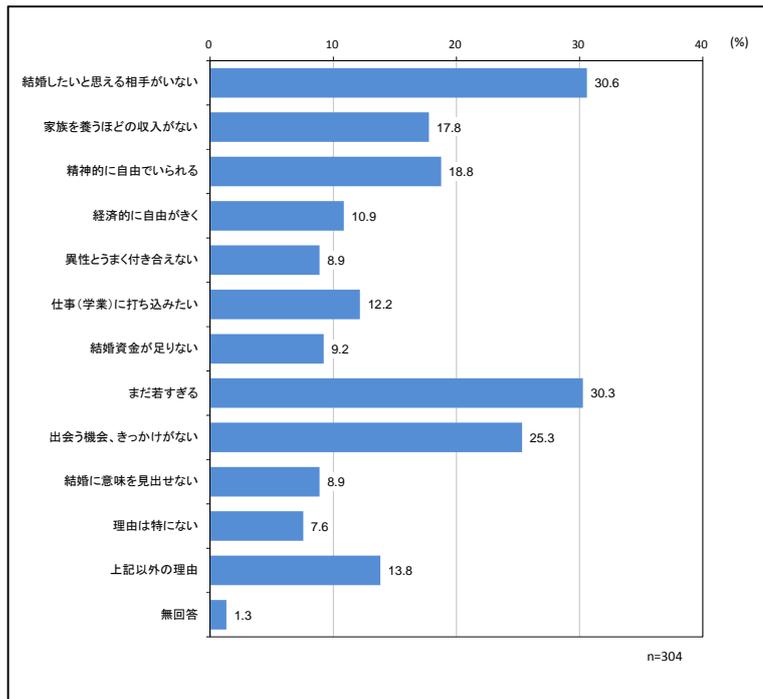
⑤結婚の有無

「独身（未婚）」「独身（離婚歴あり）」を合わせた『独身』は46.6%、「既婚（事実婚を含む）」は53.1%となっています。



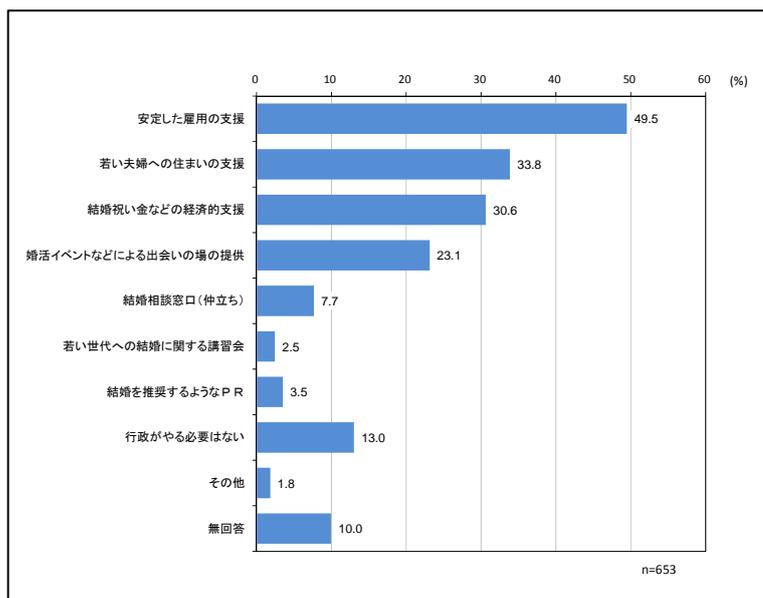
⑥独身の理由

「結婚したいと思える相手がいない」30.6%、次いで「まだ若すぎる」30.3%、「出会う機会、きっかけがない」25.3%となっています。



⑦結婚支援事業として望むもの

「安定した雇用の支援」49.5%が最も多く、次いで「若い夫婦への住まいの支援」33.8%、「結婚祝い金などの経済的支援」30.6%となっています。

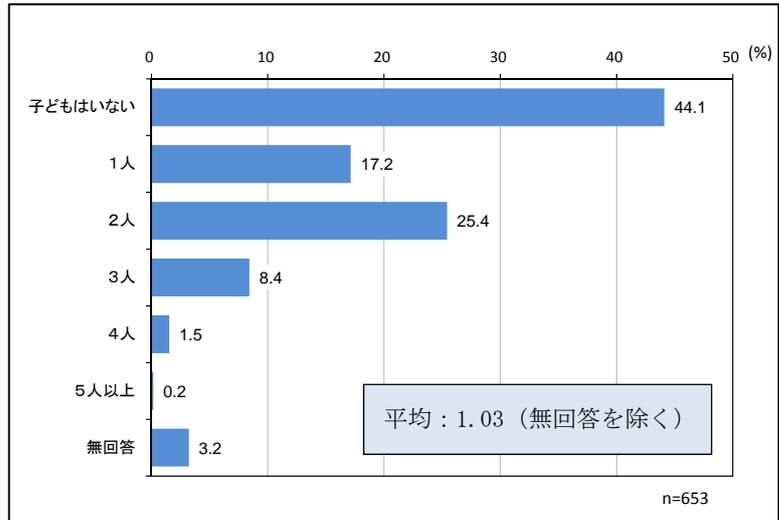


出産について

⑧現在の子ども数

「子どもはいない」44.1%が最も多く、次いで「2人」25.4%、「1人」17.2%となっています。

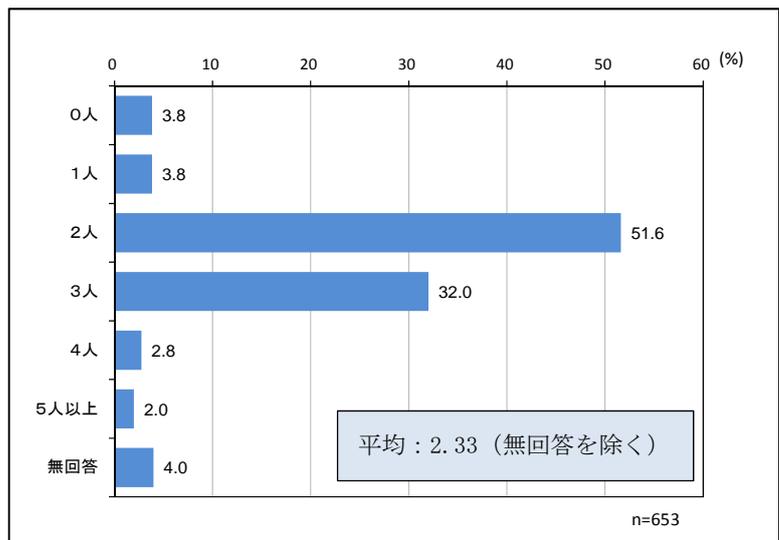
無回答を除く現在の子ども数の平均は「1.03人」となっています。



⑨理想的な子どもの数

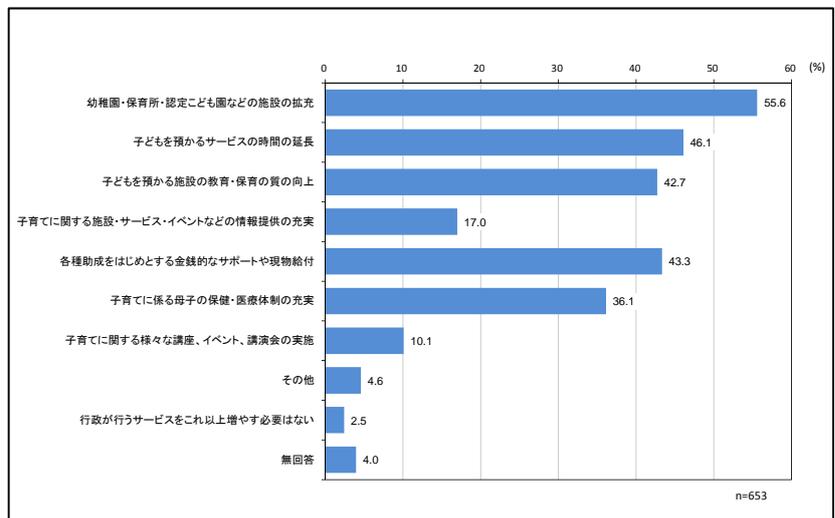
「2人」51.6%が最も多く、次いで「3人」32.0%、「1人」「0人」3.8%となっています。

無回答を除く理想的な子どもの数の平均は「2.33人」となっています。



⑩出産・育児に関するサービスとして力を入れるべきこと

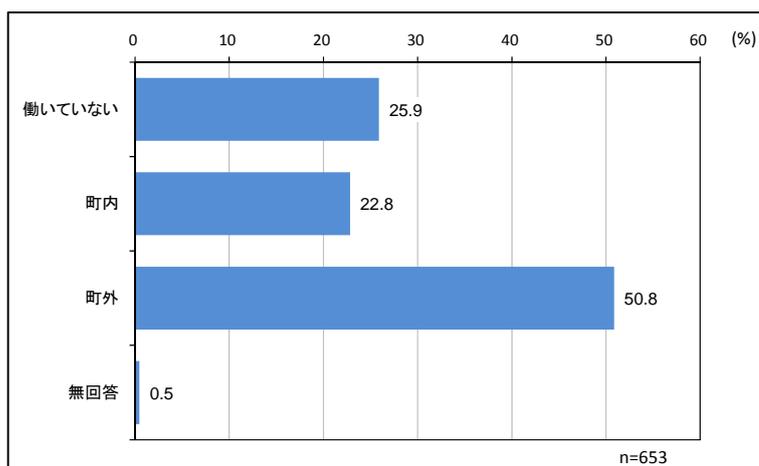
「幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充」が最も多く、過半数となっています。



働くことについて

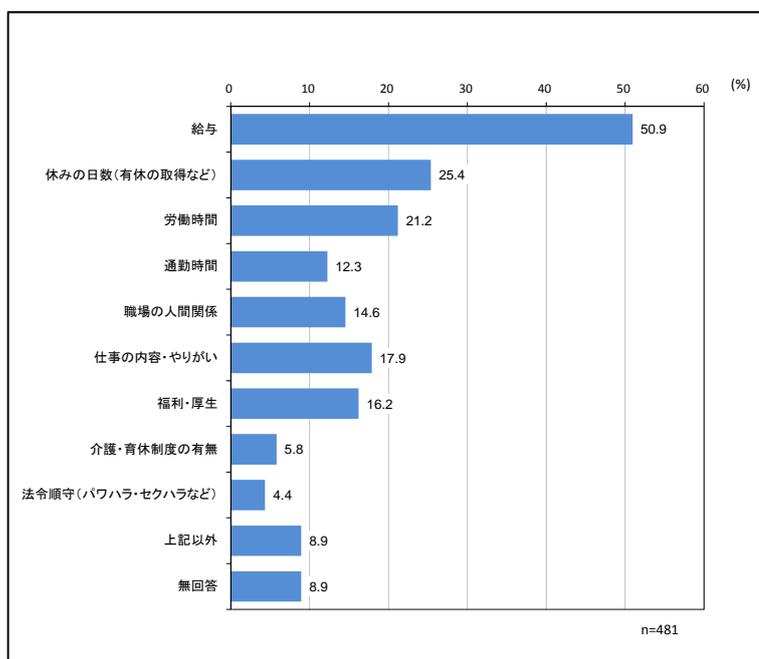
⑪働き場所

「町外」が最も多く、過半数となっています。



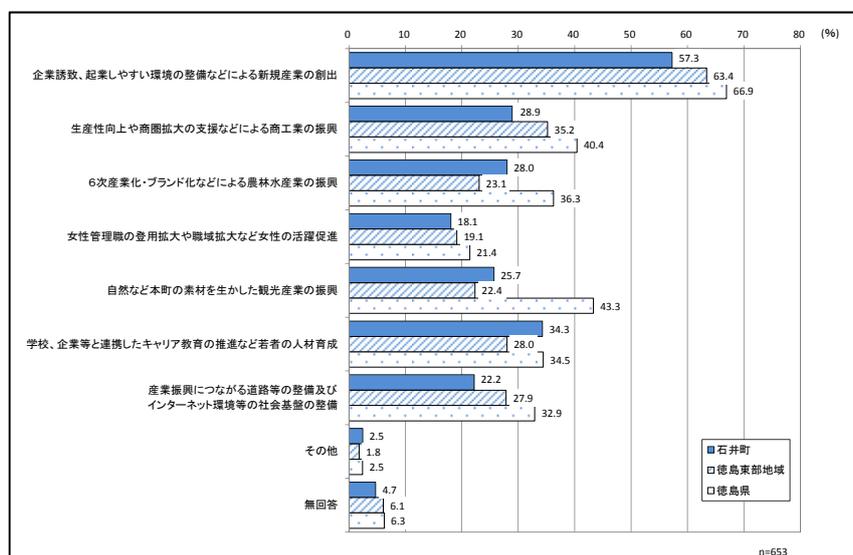
⑫職場環境で改善してほしいこと

「給与」50.9%が最も多く、次いで「休みの日数（有休の取得など）」25.4%、「労働時間」21.2%となっています。



⑬地域経済の活性化のために力を入れるべき取り組み

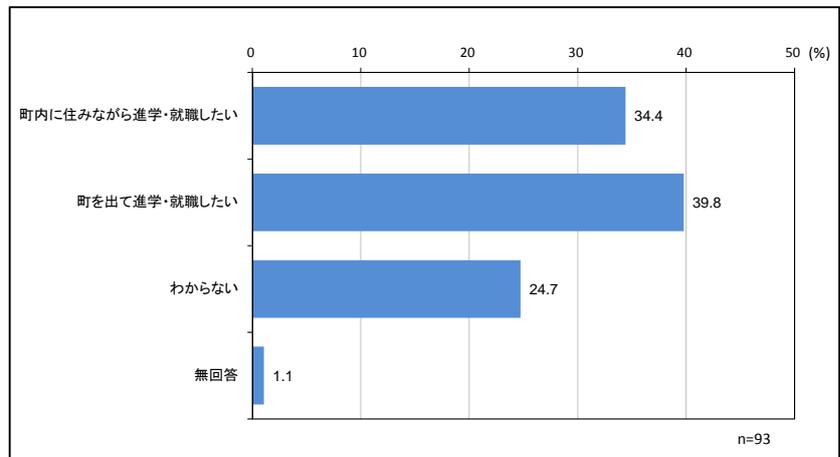
すべての地域区分で「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が最も多く、地域が広がるにつれて割合が多くなっています。



今後の進路について(学生の方限定)

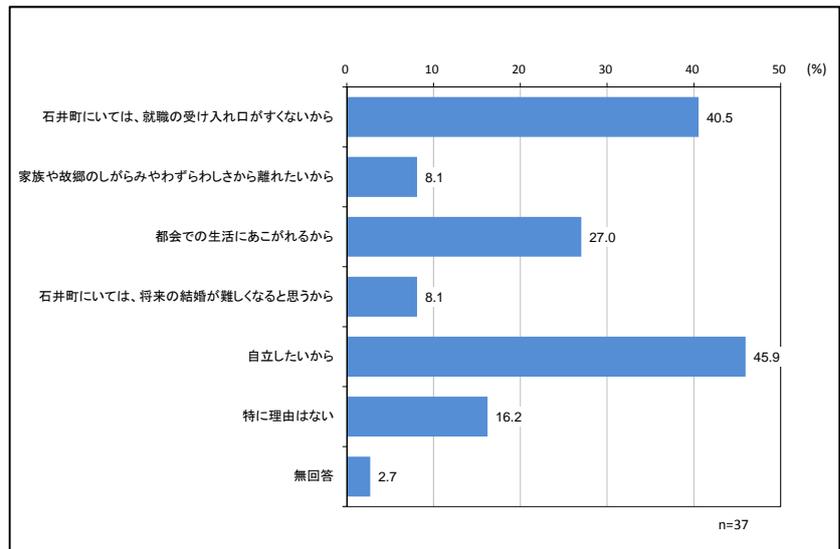
⑭進学や就職するときに石井町に残るか

「町を出て進学・就職したい」39.8%が最も多く、次いで「町内に住みながら進学・就職したい」34.4%、「わからない」24.7%となっています。



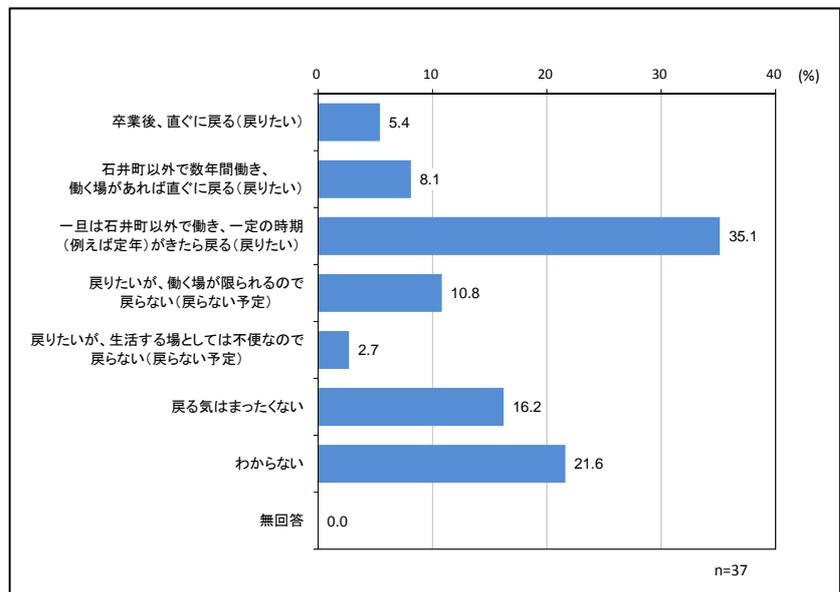
⑮進学や就職するときに石井町を出たい理由

「自立したいから」45.9%が最も多く、次いで「石井町には、就職の受け入れ口がすくないから」40.5%、「都会での生活にあこがれるから」27.0%となっています。



⑯石井町を出て進学・就職後石井町に戻ってくるか

『戻りたい』と答えた方が約半数、『戻らない』と答えた方が約3割となっています。



2. 目指すべき将来の方向

○石井町が人口減少を抑制し、活力あるまちづくりを継続していくために、次の考えを基本とします。

◇子どもを産み育てやすい環境づくりの整備

平成26年の石井町の合計特殊出生率「1.25」に対して、理想的な子どもの数の平均は「2.33」となり、理想的な子どもの数は、人口置換水準（人口が均衡した状態となる水準）である「2.07」を上回ることが分かります。また、住民アンケートにおける人口減少に対して町が取り組むべきこととしては、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組みを求める声が、最も多くなっています。

子どもを持ちたいと願うすべての人が、安心して子どもを産むことができる環境を整備するとともに、家庭、学校、地域が連携・協力して子どもを健やかに育てられる社会を形成していくことが、少子化の進行に歯止めをかけるとともに、子育て世帯の転出抑制につながるることになります。

◇住み続けたいまち・石井町の環境整備

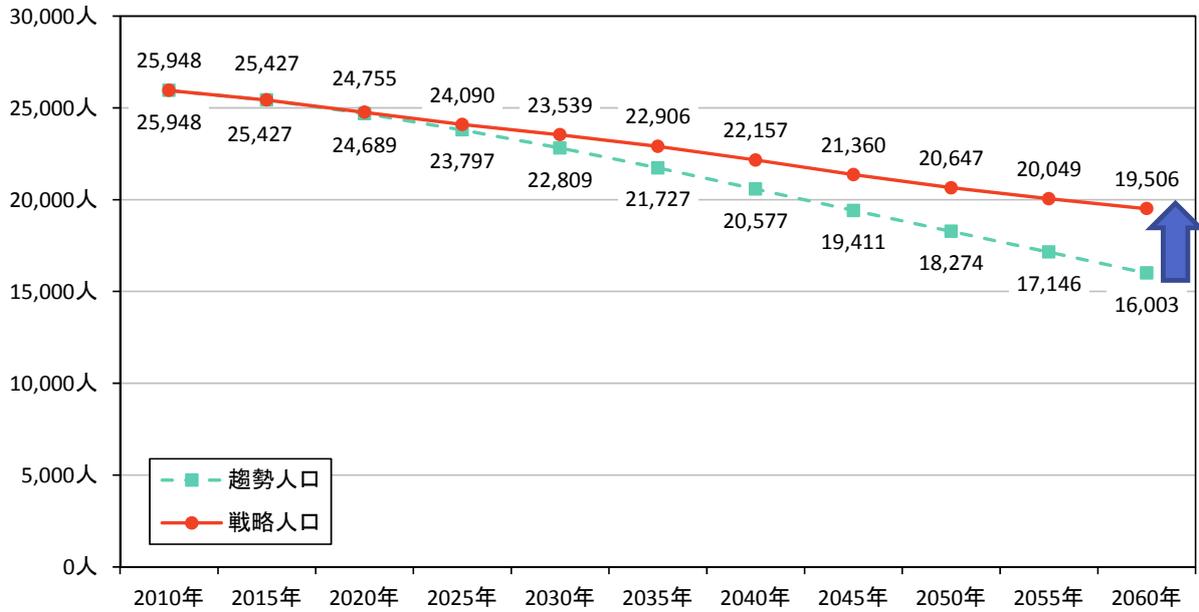
定住のための条件として、「雇用」と「住環境」は重要な条件となります。「雇用」については、本町の立地特性上、町内のみでの雇用の確保には限界があります。今後は、町内の雇用の創出に取り組むとともに、周辺市町村との連携も視野に入れた雇用の確保を目指します。現在も、町内在住の就業者のうち、町外で働く就業者は全体の半数以上を占めており、周辺市町村が通勤圏内であることは、本町の特性のひとつとなっています。今後は、住民が安全に安心して暮らせる地域づくりを進めることにより、「住む場所」として選ばれる環境整備に努めます。

3. 戦略人口と将来展望

(1) 戦略人口

○少子高齢化、転出超過といった本町の人口問題に対して、長期的視点から取り組むことにより、2060年において19,000人～20,000人の人口規模を目指します。

戦略人口



(単位：人)

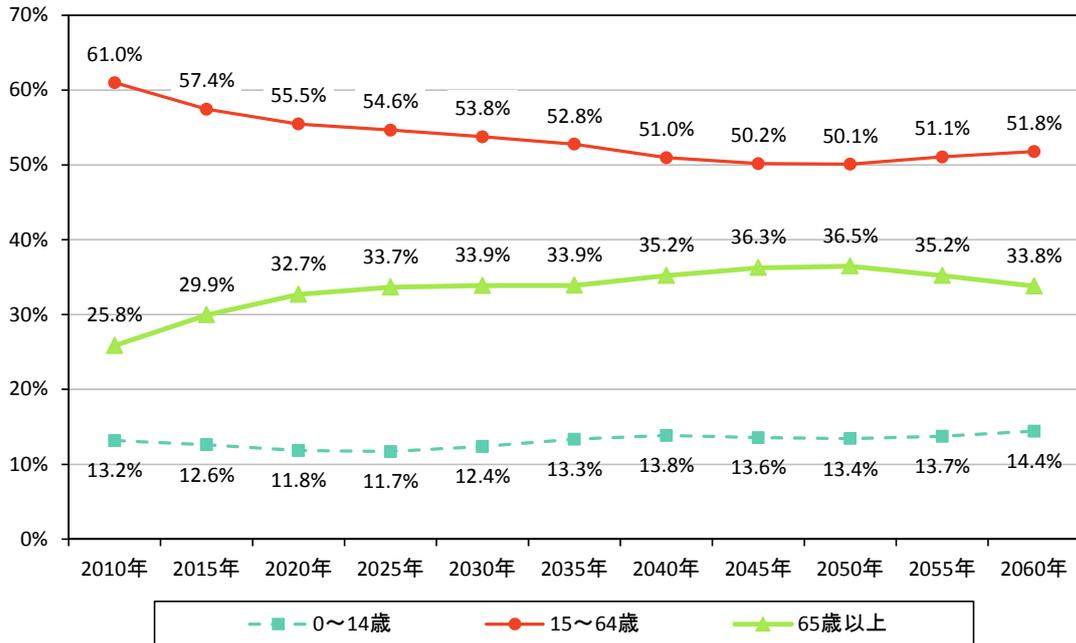
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
趨勢人口	25,948	25,427	24,689	23,797	22,809	21,727	20,577	19,411	18,274	17,146	16,003
戦略人口	25,948	25,427	24,755	24,090	23,539	22,906	22,157	21,360	20,647	20,049	19,506

○なお、戦略人口における合計特殊出生率及び移動数については、次のように仮定しています。(前述のSim4)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
合計特殊出生率	1.48	1.45	1.60	1.80	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
純定住率	各年齢層を通じたライフサイクルでの純定住率が向上し、さらに20代～40代を中心に定住が進むことを仮定。										
移動数(人)	—	62	91	106	135	149	163	149	149	170	183

(2) 戦略人口に基づく将来展望

戦略人口 年齢3区分別構成比



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
0～14歳	3,416	3,207	2,931	2,817	2,912	3,057	3,068	2,898	2,773	2,755	2,814
15～64歳	15,827	14,607	13,730	13,165	12,655	12,086	11,292	10,718	10,343	10,237	10,100
65歳以上	6,705	7,613	8,094	8,108	7,972	7,763	7,797	7,744	7,531	7,057	6,592

[年少人口]

- 0～14歳の年少人口比率は、2010年の13.2%から一旦は11.7%にまで減少するものの、その後増加し、2060年には14.4%になることが想定されます。
- 様々な子育て支援策は、戦略人口達成の前提となる合計特殊出生率の上昇を実現するための手段のひとつであるとともに、その結果として出現する未就学の子ども数に応じた対応施策でもあります。
- 年少人口は、今後も現状の80～90%程度の水準を維持することから、その手段であり、対応策でもある子育て支援へのニーズが大きく縮小することは想定しづらく、今後も少子化対策の観点からの取り組みが重要になってきます。

[生産年齢人口]

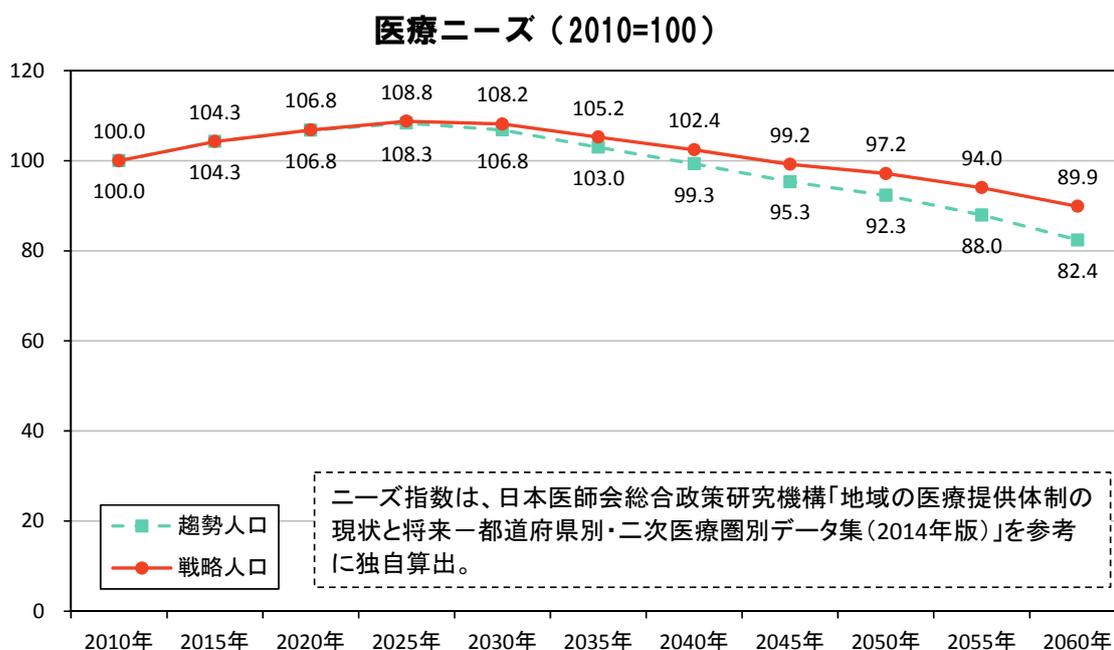
- 消費面、生産面からその多くを担うことが期待される生産年齢人口については、人口規模の縮小に伴い、縮小傾向で推移する見通しです。
- 人口構造の観点からは、2010年の61.0%から2060年には51.8%にまで減少するものと想定されます。
- 転出抑制・転入促進に向けた地域づくりの推進は、若い世代を中心とした純定住率の向上を実現するため、今後も継続した取り組みが必要とされます。長期的にみた生産年齢人口の一定の減少は避けられない状況の中、経済規模の縮小を抑制するためには、生産性の向上についても力を入れていくことが重要です。

【高齢者人口】

- 高齢者人口は、2025年をピークに減少過程に入ることが想定されますが、人口構造における高齢化率については2010年の25.8%から上昇傾向で推移し、2050年に36.5%程度でピークを迎えるものと想定されます。
- 今後は、高齢者の社会参加や生きがいがいづくりの取り組みを進め、比較的元気な高齢者に一人でも多く活躍していただくことが、人口減少期における都市の活性化には不可欠と考えられます。

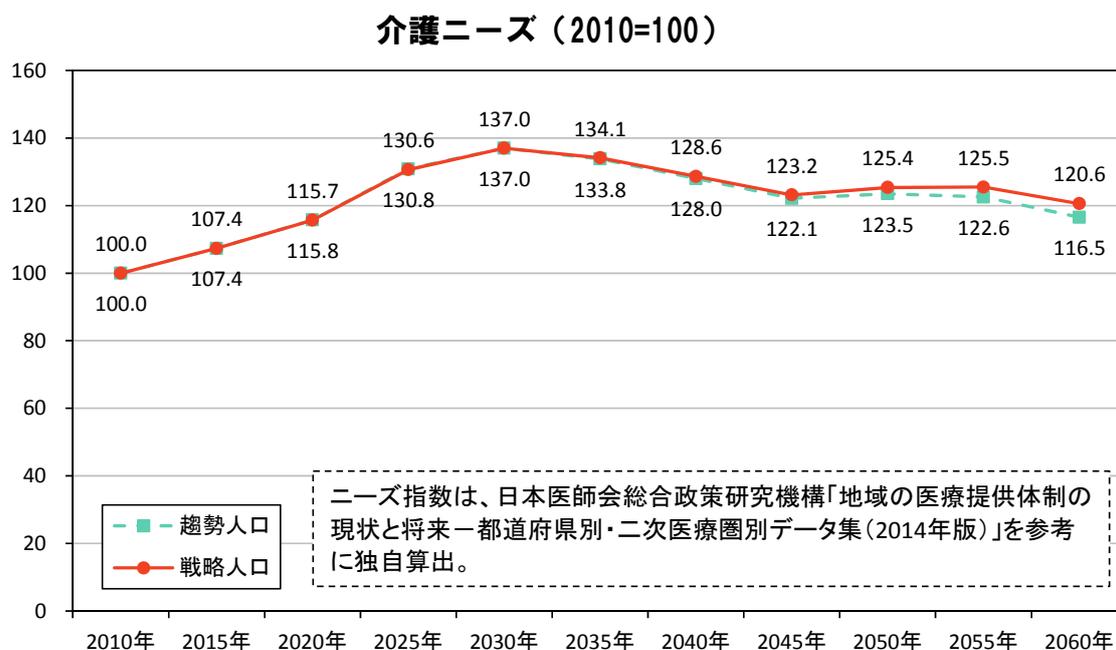
【医療ニーズ】

- 医療ニーズについては、2025年に現状の108.8%程度の水準でピークを迎えた後は縮小していくことが想定されます。
- 今後も、誰もが安心して健康に暮らせる社会の実現のためのサービスの整備・充実とともに、健康づくり事業を重点的に進めていく必要があります。



[介護ニーズ]

- 介護ニーズについても、当面の高齢者人口の増加、並びに高齢者の高齢化等を背景に、今後も増大し、2030年に現状の137.0%程度の水準でピークを迎えることが想定されます。
- 今後も長期的観点から施設・サービスの整備・充実とともに、人材の育成を図っていく必要があります。



石井町人口ビジョン

●発行／徳島県 石井町

〒779-3295

徳島県名西郡石井町高川原字高川原 121-1

TEL 088-674-1111

<http://www.town.ishii.lg.jp/>

●発行日／平成 28 年 3 月